

経営学部

SCHOOL OF BUSINESS ADMINISTRATION

「個」を強くする大学。

MEIJI  
UNIVERSITY

# “Self-awareness makes the world go round.”



経営学部長  
中西 晶 (なかにし あき)

1983年京都大学文学部哲学科卒業。産業能率大学在職中に2000年東京工業大学社会理工学研究科博士後期課程修了。博士。東京都立科学技術大学工学部・工学研究科助教授、明治大学経営学部専任准教授を経て2007年より専任教授。研究テーマは高信頼性組織。著書に「高信頼性組織の条件」(単著)「マネジメント基礎力」(共著)など。

## 学部長メッセージ

### 多様な価値観を持つ他者と協働による課題解決とイノベーション

明治大学経営学部は、1953年に日本の私立大学で最初の経営学部として発足し、時代とともに進化を続け、昨年70周年を迎えました。創設者の佐々木吉郎は、「教育は今日に役立つ人間を作るのではない。明日に役立つ人間を作るのだ」と述べています。つまり、本学部の教育は「未来を創る人材の育成」にあると言い換えてもよいでしょう。

現在、経営学部は「経営学科」「会計学科」「公共経営学科」の3学科制をとり、「グローバル経営人材」と「価値創造人材」の育成を目標としています。「グローバル経営人材育成トラック(GREAT)」、「高度職業会計人養成トラック(CAP)」、そして2024年度よりスタートする「デジタル経営人材開発トラック(DIGIT)」という学科横断的なトラックも設けています。また、経営学部が中心となった本格的な起業・スタートアップ支援「明治ビジネスチャレンジ」の展開も始まりました。

経営学部では、営利、非営利問わず、組織の経営に必要な幅広い分野の知識を学びます。さらに、国内外でのフィールドスタディや実務家を招いたPBL(Project Based Learning)など、実際の社会の現場を経験する機会も提供します。これらは、将来、社会に出てキャリアを形成していくための基盤となるでしょう。

明治大学経営学部生には、こうした学びの機会を積極的に活用し、多面的な視点から新しいアイデアを生み出し、多様な価値観を持つ他者と協働して課題を解決し、イノベーションする能力を獲得することを期待します。

明治大学経営学部は、その歴史と伝統の中で、常に新しい時代に対応した教育を提供し続けてきました。そしてこれからも、みなさんとともに未来を創る主体として挑戦していきたいと考えています。

動画と記事で学部を知る  
「Step into Meiji University」も  
ぜひご覧ください



## CONTENTS

- 学部長メッセージ ..... 01
- 経営学部概要 ..... 03
- カリキュラムの特長 ..... 05
- グローバル経営人材の育成
  - GREAT ..... 07
  - IBP ..... 09
  - ISIBM ..... 10
  - デュアルディグリー・プログラム ..... 11

- 経営学部独自の学部間協定校 ..... 12
- 価値創造人材の育成
  - 高度職業会計人養成トラック(CAP) ..... 13
  - デジタル経営人材開発トラック(DIGIT) ..... 14
  - フィールドスタディ ..... 15
  - グローバル・サービ斯拉ーニング ..... 17
  - キャリア形成入門 / 経営総合講義A・B / 特別講義 ..... 18
  - 経営学部のゼミナール教育 ..... 19

- 外国語科目 ..... 20
- 教養科目 ..... 21
- 基礎専門科目 ..... 22
- 学科紹介
  - 経営学科 ..... 23
  - 会計学科 ..... 25
  - 公共経営学科 ..... 27
- 教員紹介 ..... 29

- 卒業後の進路
  - 早期卒業制度 / 大学院経営学研究科・専門職大学院 ..... 32
  - 就職・キャリア形成支援 ..... 33
  - 就職実績 ..... 34
  - 卒業生からのメッセージ ..... 35
  - 懸賞論文制度 ..... 35
  - 奨学金制度 ..... 36
  - 入試情報 ..... 37

※登場する人物の在籍年次や役職等は、取材時点のものです。  
2023年以前撮影の写真も掲載しています。

# 一人ひとりの問題意識や興味を引き出す、様々なプログラム

1953年、明治大学経営学部は私立大学最初の経営学部として設立されました。それ以来、常に時代を牽引するビジネスリーダーを送り出してきました。2002年には経営学科、会計学科、公共経営学科の3学科制に変更し、学部教育の専門性を高めています。Point 1 2015年からは学科所属を2年次からに変更することで、学科内容を理解したうえで所属を決定できるようにしました。学科間の垣根は低くしていますので、所属学科以外の演習(ゼミナール)や専門科目も履修することができ、多様なニーズに対応できるようにしています。

明治大学は文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」に日本社会のグローバル化を牽引する大学として採

択され、徹底した国際化を進めています。この大学の強力な国際化に応じて、経営学部は「グローバルレベルでビジネスを創造・推進する経営人材の育成」を教育目標とし、「グローバル経営人材」と「価値創造人材」の育成のためにカリキュラムを設定しています。GREATや英語による授業科目、学部独自の留学制度など、将来、海外で活躍しようと考えている人にぴったりのプログラムです。また、「個」を強くするという大学の理念に基づいて、体験型授業やPBL(Project Based Learning)、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。これらの多くは答えの無い問題に挑む授業です。予測が難しい現代社会において、マネジメントの方向性を決め、新しいビジネスを推進する力を養います。

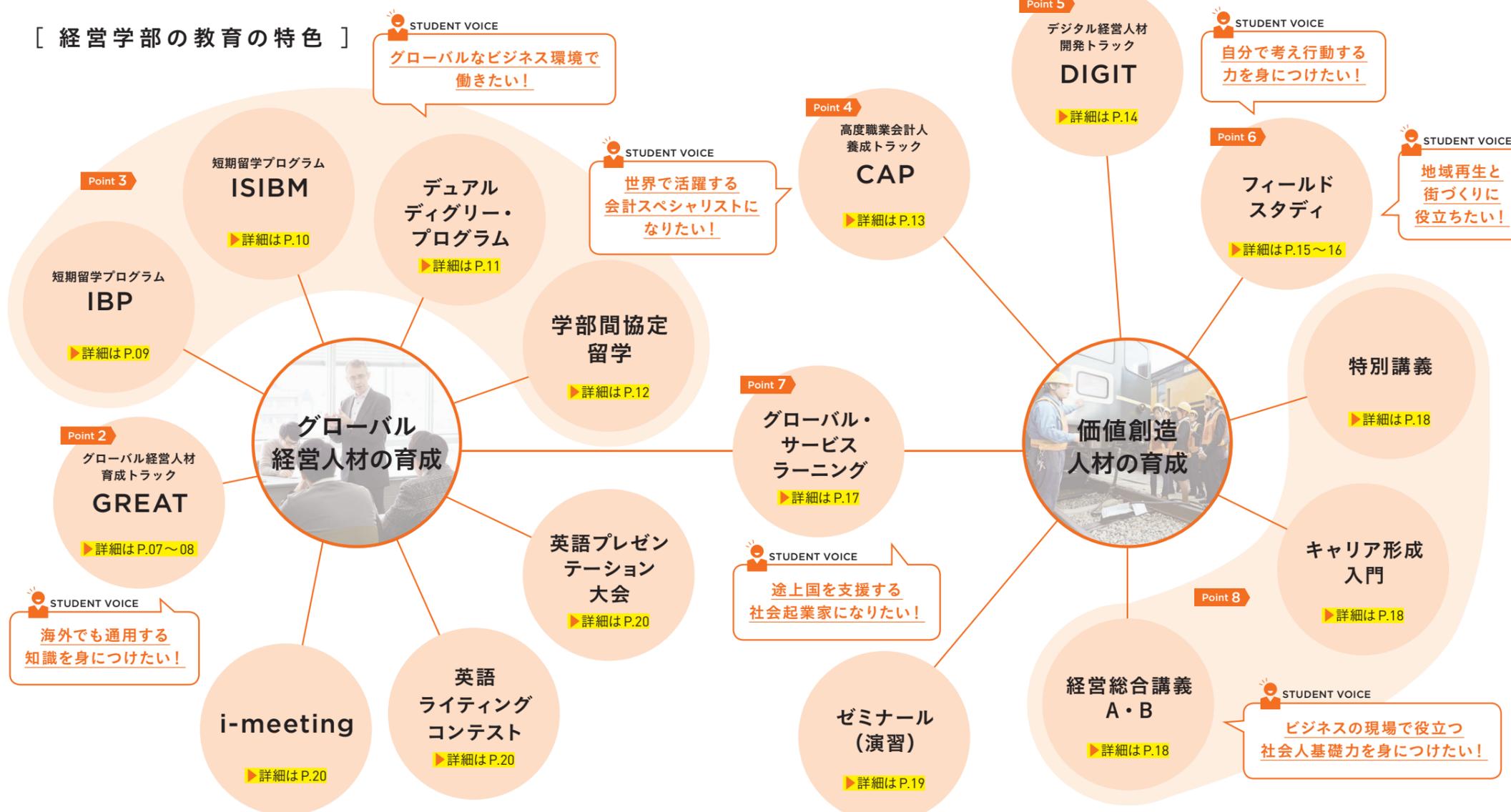


**教育は今日に役立つ人間をつくるのではない。明日に役立つ人間をつくるのだ。**

佐々木 吉郎  
(経営学部創設者・初代学部長)

※表紙右下に描かれた坂は、佐々木吉郎先生にちなんで「吉郎坂」と名付けられました。

## [ 経営学部の教育の特色 ]



## 明治大学経営学部の強み

● **ビジネスリーダーを目指す**  
● あなたの「想い」に応える学部

### Point 1 学ぶ目的を明確にする 2年次からの3学科制度

1年次では、年々、複雑化・細分化する経営学の全体像を把握し、基礎をしっかりと学び、2年次からは経営学科、会計学科、公共経営学科の3つの学科に分かれて、専門領域に打ち込んでいける制度です。▶詳細はP.23~28

### Point 2 英語スキルと専門知識の融合を目指す グローバル経営人材育成トラック GREAT

英語スキルと専門知識をミックスさせたカリキュラムで、世界で通用する英語能力と専門知識を同時に養い、「グローバル経営人材」を育成します。▶詳細はP.07~08

### Point 3 グローバル社会の扉を開く 経営学部独自の短期・長期留学プログラム

短期留学プログラムのIBPやISIBM、14大学15学部との学部間協定留学からヴィクトリア大学(カナダ)とのデュアルディグリー・プログラムまで、多様な留学プログラムを用意しています。▶詳細はP.09~12

### Point 4 公認会計士や税理士などを目指す 高度職業会計人養成トラック CAP

1年次から体系的に会計の専門知識とスキルを学びます。またCAPに参加し、修了要件を満たした学生には修了証書が授与されます。▶詳細はP.13

### Point 5 DX時代に即した教育プログラム デジタル経営人材開発トラック DIGIT

データサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してビジネスデータ・ソーシャルデータの分析からインサイトを探索し、新たな社会の在り方やプロセス改革・新製品サービス開発・事業創造等のイノベーションを創造できる「デジタル経営人材」を育成します。▶詳細はP.14

### Point 6 教室外での体験型実践教育 フィールドスタディ

社会の現場に飛び出し、自分の専門テーマに沿った、自発的な調査、研究、問題解決を行うフィールドスタディを重視しています。国内だけでなく、海外へも調査に行き、プレゼンテーション能力の向上も同時に図れます。▶詳細はP.15~16

### Point 7 海外で社会貢献活動を体験 グローバル・サービスラーニング

単なるボランティア実習ではなく、「貧困」などの国際的な社会課題について考え、解決するための知識の修得と活動を体験します。▶詳細はP.17

### Point 8 企業の現場を意識する 1年次からのキャリア教育

経営総合講義、キャリア形成入門を通じて、1年次から段階的に社会人基礎力を育成しています。▶詳細はP.18、33~34

# 経営学部の4年間で学べること

経営学部では、1年次は経営の基礎を幅広く学び、2年次から、経営学科、会計学科、公共経営学科の3つに分かれて学びます。

経営学科では主として営利企業のマネジメントを、会計学科では会社の利害関係者に役立つ会計情報について、そして公共経営学科では行政組織や非営利組織のマネジメントやスポーツマネジメントについて学びます。1年次で学んだことを加味して学科選択することで、自分をもっと興味をもった専門領域を基礎から徹底的に学ぶことができます。それぞれの学科は、専門領域についての魅力あるカリキュラムを提供しています。

## 4年間の学びの流れ



## 経営学部の学びのポイント

- 特長 1 2年次からの学科所属**  
 経営学部の入学試験は学科ごとではなく学部一括で行われ、2年次から学科に所属します。入学前に大学で学ぶ専門領域を決めるのではなく、入学後に各学科で学ぶ内容をよく理解したうえで、自分の適性や興味、将来の方向性に基づき、学科を選択することができます。
- 特長 2 3つの人材育成トラック**  
 経営学部では、4年間の特別カリキュラムを用意しています。グローバル経営人材育成トラック (GREAT) は、海外留学や国際ビジネス分野での活躍を目指す学生のため、高度職業会計人養成トラック (CAP) は、公認会計士、税理士、国税専門官などの資格試験合格を目指す学生のため、デジタル経営人材開発トラック (DIGIT) はデータサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してイノベーションを創造するためのトラックです。
- 特長 3 少人数制の演習科目**  
 演習科目は10～20名程度の少人数で1つのテーマをじっくりと学んでいく授業です。経営学部には、1年次から履修可能な「教養演習」、「外国語教養演習」、「基礎専門演習」と、2・3・4年次の「演習」があり、経営学に限らず幅広いテーマで開講されています。
- 特長 4 体験型の実習関連科目**  
 実習関連科目は大学の内外で展開される体験型の授業です。経営学部には、大学の外で調査・実習を行う「フィールドスタディ」や、海外での社会奉仕活動に参加する「グローバル・サービスマーケティング」、短期留学プログラムの「IBP (International Business Program)」などがあります。

## [カリキュラム体系図]

	1年次	2年次	3年次	4年次
<b>学部必修科目</b> [経営学に必要な基礎を学ぶ]	経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学			
<b>学科専門科目</b> [各学科の専門を学ぶ]	各学科の科目についてはP.23～28を参照してください			
<b>演習科目(ゼミナール)</b> [少人数で専門分野を学ぶ]	教養演習(1・2年次) 外国語教養演習(J/E) (1・2年次) 基礎専門演習(J/E)			
<b>教養科目</b> [幅広い教養を身につける]	言語思想 自然科学思想史 言語表現論 社会学 社会思想 自然人類学 外国文学(英米・独・仏・中) 心理学 倫理思想 文化人類学 日本事情 宗教思想 生理学 日本語論 経営総合講義(1年次) 数学 健康科学 日本文学 統計学 スポーツレジャー・レクリエーション論 西洋史(総論) 生物学 現代社会とスポーツ 西洋史(各論) 物理学 トレーニングの科学 法学 化学 レポート・論文作成法 地理学 政治学			
<b>基礎専門科目</b> [経営関連分野の基礎を学ぶ]	簿記論 経営基礎数学 情報化社会論 経済原論 経営心理学(2年次) ビジネス法 経済史 マーケティング基礎論(2年次)			
<b>外国語科目(必修)</b> [2か国語以上を学ぶ]	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国語・日本語			
<b>外国語科目(選択)</b> [英語表現論]	TOEFL® Reading/Listening/Speaking/Writing (E) TOEFL® Preparation (E) English Exams (E)			
<b>体育実技科目</b>	体育実技 選択体育実技 学外選択体育実技			
<b>実習関連科目</b> [詳細はP.09,14～17]	IBP: International Business Program (E) [短期留学によって学ぶ] グローバル・サービスマーケティング[海外での社会奉仕活動によって学ぶ] フィールドスタディ[教室外の調査実習によって学ぶ] DIGIT入門演習 DIGIT実践演習 キャリア形成入門[社会人基礎力を身につける](1・2年次) リサーチリテラシー [データの分析方法を学ぶ]			
<b>ICTリテラシー科目</b>	ICTエレメンタリー ICTベーシック ICT統計解析 ICTデータベース ICTメディア編集 ICTアプリ開発 ICTコンテンツデザイン ICT総合実践			

注) (E)は「英語で実施する授業科目」を示します。  
 (J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

## Q&A

- Q 経営学は商学とどのように違うのですか?**  
**Answer** 商学は、総合市場科学とも呼ばれ、商品流通や商行為など市場にかかわる事柄を対象としています。これに対して経営学は、組織や事業などの経営にかかわる事柄を対象としています。すなわち、経営学は、私企業・公企業・政府・地方自治体・非営利団体など様々な組織体とその事業にかかわる構想・計画・実行・管理・運営などといった活動を対象として、それらに関する経営を取り扱います。
- Q 2年次以降、自分が所属する学科以外の科目を学ぶことはできますか?**  
**Answer** 可能です。2年次から所属する学科によって履修しなければならない学科専門科目は異なりますが、他学科の専門科目も履修して学ぶことができます。また、学科の枠を越えて学べる科目も多く、各教員が担当している演習(ゼミナール)も所属学科に関係なく選択できます。専門性を身につけながら幅広く学べる仕組みです。
- Q 他大学の経営学部と比べて、明治大学経営学部の特長は何ですか?**  
**Answer** 総勢60名を超える専任教員が幅広いラインアップで授業を展開し、特色ある経営学科・会計学科・公共経営学科の分野をバランス良く学ぶことができます。講義のほか、学生が主体的に学ぶ機会を多く提供しており、少人数の演習科目や体験型の実習科目が多いのも特長です。英語による授業科目も多く、グローバルに通用する知識を身につけることができます。

# グローバル社会への扉を開く 「GREAT」※

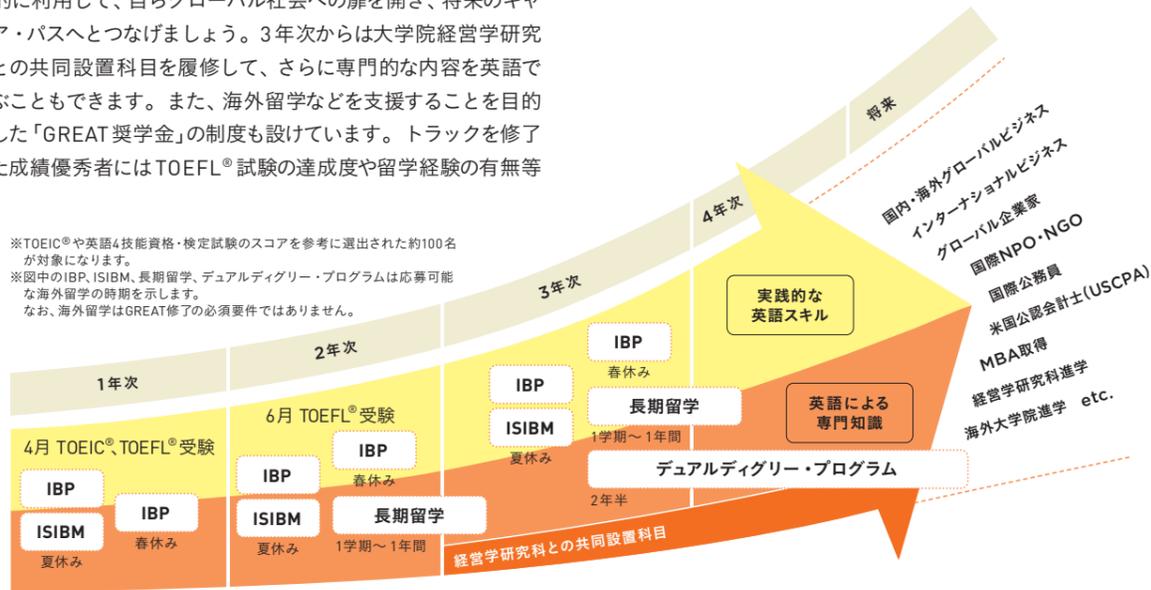
※ Global Resources English Applied Track

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来、海外留学や国際ビジネスでの活躍を目指す学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養と専門知識を学びます。経営学部独自の海外短期留学プログラム・長期留学も積極的に利用して、自らグローバル社会への扉を開き、将来のキャリア・パスへとつなげましょう。3年次からは大学院経営学研究科との共同設置科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。また、海外留学などを支援することを目的とした「GREAT奨学金」の制度も設けています。トラックを修了した成績優秀者にはTOEFL®試験の達成度や留学経験の有無等

に応じて修了証書が授与されます。

TOEIC®や英語4技能資格・検定試験のスコア上位者が対象となりますが、1年次春学期でGREATの対象にならなかった学生でも、所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATに任意で参加することができます。

※TOEIC®や英語4技能資格・検定試験のスコアを参考に選出された約100名が対象となります。  
※図中のIBP、ISIBM、長期留学、デュアルディグリー・プログラムは応募可能な海外留学の時期を示します。  
なお、海外留学はGREAT修了の必須要件ではありません。



	1年次	2年次	3年次	4年次
<b>実践的な英語スキル</b>	「Academic Reading」「Academic Writing I」の他、「Study Skills」ではGREAT履修・海外留学に必要な英語スキルの獲得と将来のキャリアを見据えたポートフォリオづくりに取り組みます。	「Academic Writing II」では、さらに高度な英語力を獲得するとともに、APAスタイルを用いてリサーチリテラシーを高めます。	1・2年次で学んだ英語スキルと専門知識をさらに発展させ、「ビジネスコミュニケーション科目群」の科目においてビジネスの専門分野に必要な英語スキルを学びます。	
<b>英語による専門知識</b>	「Global Issues」などの科目においてグローバル社会に通用する国際教養を英語で学びます。「English for Business Studies」では英語を使って経営学のテーマを議論します。	「Fundamentals of Management」や「Strategic Business Communication」などの科目において英語による専門知識の基盤づくりを行います。	より専門的な経営・会計・公共経営学専攻科目を含む幅広い授業科目を英語で学びます。	

## ■ GREATの特色

英語スキルと専門知識を同時に取り入れる GREAT では、学問におけるグローバル・スタンダードを意識した学習活動を入学時から行います。英語で講義を受けるために必要なリスニングのスキル、重要な点をすばやく書き留めるノート・テイキングのスキル、英語の文献を読むためのリーディングのスキル、アカデミックライティングの基礎、英語の文献を用いたリサーチに必要なアカデミックスキル、ディスカッションやプレゼンテーションに必要な英語による論理的思考力・表現力など、まずはキャンパス内の英語による授業科目受講により海外留学時に必要なスキルを身につけます。TOEFL®やIELTS™などの国際的な英語検定試験における高得点獲得にも力を入れ、3年次秋からの留学を想定

して入学後の4月と、2年次の6月にTOEFL®団体受験を行います。また、「i-meeting」に代表される異文化交流のイベントで異文化理解を深め、「英語プレゼンテーション大会」や「英語ライティングコンテスト」では英語で自分の考えを発信する能力を向上させます。経営学部では、独自の短期留学プログラム「IBP」や夏期国際ナショナルビジネスマネジメントプログラム「ISIBM」「学部間協定留学プログラム」「デュアルディグリー・プログラム」などの国際プログラムを用意し、GREATで培ったグローバル・スタンダードの基盤をもとに、自らグローバル社会への扉を開く学生を力強くサポートします。



## Strategic Business Communication

GREATで履修する選択科目  
「Strategic Business Communication」を紹介します。

「Strategic Business Communication」では、英語を使ってビジネス・コミュニケーションの理論と実践を学びます。マネジャーやリーダーが人とともに仕事をやり遂げるためには、効果的なコミュニケーションが必要です。この科目では、「信頼」を軸にしてビジネ

ス・コミュニケーションにアプローチします。英語による講義と議論を通して、英語技能と経営学の専門知識を統合し、英語で開講される基礎専門科目・経営学専攻科目や、留学先での学部科目履修への橋渡しをします。



**MESSAGE** **金子 敦子 准教授**

GREAT (Global Resources English Applied Track) には、海外留学やグローバルビジネスでの活躍を目指す学生が集い、少人数の参加型授業でプレゼンテーションや議論を通して高度な英語コミュニケーション能力を身につけます。英語による授業で日本のみならずアジアや欧米など世界各国の学生とともに経営学を学ぶことで、有為なグローバル経営人材に成長してほしいと願っています。

**PROFILE**

コンサルタント(アクセンチュア)、株式調査部アナリスト(UBS証券会社)等を経て、2018年より現職。専門領域: マネジメント・コミュニケーション。MBA(University of London)、文学士(東京大学)。

## [ 2023年度 経営学部「英語による授業科目」一覧 ] (春・秋学期で74科目114コマ)

春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
Global Issues A	Global Issues B	Corporate Social Responsibility	Japanese Economy	Tourism Management A	Tourism Management B
Global Issues C	Global Issues D	Internet Business A	Internet Business B	Strategic Management A	Strategic Management B
Liberal Arts Seminar in Foreign Languages A	Liberal Arts Seminar in Foreign Languages B	Contents Business A	Contents Business B	E Commerce A	E Commerce B
Liberal Arts Seminar in Foreign Languages C	Liberal Arts Seminar in Foreign Languages D	TOEFL Reading	TOEFL Speaking	Organizational Behavior A	Information Science A
TOEFL Listening	TOEFL Writing	TOEFL Preparation A	TOEFL Preparation B	Information Science B	Information Science C
TOEFL Preparation A	TOEFL Preparation B	TOEFL Exams A	TOEFL Exams B	Transnational Management A	Transnational Management B
TOEFL Exams A	TOEFL Exams B	TOEFL Exams C	TOEFL Exams D	Information Ethics A	Information Ethics B
Genres of Writing	Speech and Debate	English Exams A	English Exams B	International Marketing A	International Marketing B
International Business Program A	International Business Program B	English Exams C	English Exams D	Service Marketing A	Service Marketing B
Business English A	Business English B	English Exams E	English Exams F	Advanced Financial Accounting A	Advanced Financial Accounting B
Business Presentation A	Business Presentation B	English Exams G	English Exams H	Financial Statement Analysis A	Financial Statement Analysis B
Fundamentals of Management A	Fundamentals of Management B	English Exams I	English Exams J	Corporate Finance A	Corporate Finance B
Fundamentals of Management C	Fundamentals of Management D	English Exams K	English Exams L		
Strategic Business Communication A	Strategic Business Communication B				

## STUDENT VOICE

公共経営学科 4年  
**進藤 智也**  
北海道  
小樽湖陵高等学校卒業



留学先:  
カリフォルニア大学  
パークレー校

## GREATで身につけた英語力を 留学先での学習に活かすことができた

入学前から英語を使用して専門知識を学ぶことに興味があり、グローバル経営人材育成という教育の特色に大きな魅力を感じて経営学部へ。海外でキャリアを積まれた講師の方々や、留学生や海外経験のある学生とのかわわりは、非常に刺激になりました。英語でのディスカッションやエッセイの書き方、プレゼンテーション技法などを学ぶ中で、英語4技能をバランスよく高められます。また英

語使用時は母国語とは違う視点で思考するため、多角的な視点も養われました。カリフォルニア大学パークレー校への留学中、授業でのディスカッションや課題レポート作成を乗り越えることができたのも、GREATでの学びのおかげだと思っています。卒業後は教育機関で働くため、留学先の拡大や、多くの学生を留学させ、学生と留学先大学の橋渡しの役目を果たしていきたいです。

# 経営学部独自の「留学制度」

## 「IBP」でビジネス英語を学ぶ

※ International Business Program

経営学部では、学生の海外留学を促進するため、学部間協定留学プログラムにおける正規留学をはじめ、学生のニーズに対応した多様な留学プログラムを用意しています。TOEIC® 400点以上の学生を対象にした「IBP」は、人気の短期留学プログラムです。

### 英語で積極的にコミュニケーションする習慣を身につける

IBP (International Business Program) は、海外短期留学を行う科目 (合計3単位) です。年2回、IBP A (春学期開講) は夏休み期間中、IBP B (秋学期開講) は春休み期間中に4週間、アメリカの大学で実施されるプログラムが中心ですが、渡航前に事前学習を行い、帰国後の「振り返り学習」では、学んだこと、感じたこと、考えたことをまとめて報告し、後に続く学びの発展へ

とつなげます。現地ではホームステイをしながら、授業内外で英語を常に使用することにより、英語で積極的にコミュニケーションする習慣を身につけます。また、ビジネス英語や英語スキル、プレゼンテーション能力の向上に特化した授業や現地企業訪問が組み込まれており、「英語で経営学を学べる」短期留学プログラムとなっています。



初めての海外留学は、学生にとって大きな冒険。事前学習では「安心して冒険ができる英語力」を身につけます。

### STUDENT VOICE

経営学科 3年  
佐々木 琴葉  
広島県  
私立広島なぎさ高等学校  
卒業  
留学先:  
ポートランド州立大学



### 短期間で英語力を伸ばせる他では得られない経験

高校時代から海外に興味があり、学生時代に留学に挑戦したいという思いからIBPを受講しました。休暇期間中に留学するため、授業やゼミ活動への影響がない点が魅力です。3週間という短い期間でしたが、現地で働く方のお話を聞く機会にも恵まれ、海外における労働に対する考え方に触れるなど、価値観の多様性を学べました。寮では他の留学生に積極的にコミュニケーションを



とるようにしました。切磋琢磨したりトラブルを乗り越えたりしたことは他では得られない貴重な経験です。IBPでの学びを通じ、グローバル・マーケティングに一層の興味を持つようになりました。3年の春学期にはラスベガス・ロサンゼルスでのフィールドスタディCを履修し、企業訪問や現地調査を行うことで、グローバルなものを見方に磨きがかかったように感じられます。

# ビジネスマネジメントプログラム「ISIBM」

※ International Summer Institute for Business Management

経営学部では、入門的な短期留学プログラムの「IBP」と、高度な英語力を要する「学部間協定留学プログラム」を中心に国際化推進を行ってまいりましたが、より優れたグローバル経営人材となることを目指す学生の様々なニーズに応えるため、2014年度から短期間海外でビジネス専門知識を学ぶ「ISIBM」を課外の海外研修プログラムとして設置しました。

ISIBM (International Summer Institute for Business Management) は、学部協定校のカナダ・ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部が夏休み期間中実施する3週間のビジネスマネジメントプログラムです。短期間でビジネスコミュニケーション、起業からグローバルビジネスに至るまでのプロセス、海外のビジネス事情、グローバル経営の実態などについて、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部の名高い教授陣から直接学ぶことができるのが大きな特長です。

参加学生は個人で、あるいはそれぞれのチームで行ったりサーチャをベースに絞りだしたビジネスアイデアをもとにビジネスプランを策定し、授業時間外でのグループスタディを毎週行

いながら、より現実的なプロジェクトを立案します。こういったチーム作業の中でリーダーシップを学び、チームとして作業内容をまとめ、全体でもち寄ってプレゼンテーションをしながら、考えや意見を共有・集約するプロセスを修得します。

また、ISIBMでは世界各地から訪れた学生とともに学生寮に滞在するため、様々な授業やアクティビティを通じて異文化交流ができるのも魅力のひとつです。

このプログラムは経営の理論について関心の高い学生には長期留学や大学院進学への動機付けとなり、一方、実際のビジネス展開に興味のある学生にはグローバル社会で活躍できるキャリア・パスに向かう動機付けとなるでしょう。



### STUDENT VOICE

経営学科 3年  
荻原 和子  
福井県立藤島高等学校  
卒業



### 多様な価値観に触れることで様々な角度で考える力がついた

親が家業を営む姿を見てビジネスに興味を持ったことがきっかけで経営学部に入學しました。また、英語を使用してビジネスを学びたいという思いもあり、ISIBMを受講。その中で、学生同士で新しいビジネスプランを策定しプレゼンテーションを行いました。異なるバックボーンを持った学生たちと価値観の相違を乗り越えて、プレゼンテーションを完遂させることができたときの達成感、



他では得られません。ISIBMでの経験から、自分と異なる価値観を持つ人とも協力しながら目標達成に向かう行動力が身についた他、他者の意見に対して寛容になり、相手の立場で考える姿勢を意識できるようになりました。これらの経験をこれからの学びの糧にして、リーダーとして活躍できる存在になれるよう努力していきたいです。

## デュアルディグリー・プログラム

経営学部では、カナダのヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部と学生交流協定を結び、2009年度から交換留学生の派遣・受け入れを行っていましたが、学生の相互交流をさらに促進するため、計5年間で両大学の学位を取得できるデュアルディグリー・プログラム実施に関する覚書を2015年度に締結しました。

デュアルディグリー・プログラムは、明治大学経営学部での2年半、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部での2年半、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の両方を取得できるプログラムです。学部間協定留学(1学期または1年間)よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、ヴィクトリア大学では

約1年間の実務経験を積むことができる有償インターンシップにも参加します。また、4年次以降には、ヴィクトリア大学の協定校に交換留学する機会も与えられます。このプログラムは2017年度からヴィクトリア大学への学生派遣を開始し、2023年度までに計6名の学生を派遣しています。



### [ 入学からデュアルディグリー取得までの流れ ]

#### 1年次～3年次春学期

日本で学びながら、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部への入学に必要な所定の単位を修得します。この間に明治大学経営学部で修得した単位は、ヴィクトリア大学においても認定されます。

#### 3年次秋学期～5年次

ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部の3年次に入学し、カナダで学びます。4年次以降には、ヴィクトリア大学の協定校に交換留学することも可能です。

#### デュアルディグリー取得

ヴィクトリア大学の卒業要件を満たすと、カナダの商学士の学位が授与されます。修得した単位は、明治大学経営学部においても認定され、明治大学経営学部の卒業要件を満たすと、経営学士の学位が授与されます。

### STUDENT VOICE

経営学科 4年  
**齋藤 光**  
群馬県  
私立東京農業大学  
第二高等学校卒業



留学先:  
ヴィクトリア大学

### 現地の学生とともに切磋琢磨し 英語での対話力を高められる2年間

海外で社員のマネジメントを行う父の姿を見て、経営学に興味を持つようになりました。言語や文化が異なる環境で企業活動に必要なヒト・モノ・カネ・情報の管理を学びたいと思い経営学部への進学を決意。在学中に自分だけの功績を残したいと思っていた時に、デュアルディグリー・プログラムの存在を知りました。2年間カナダのビジネススクールで研鑽を積むことは、卒業後の進路選択に有利



と考え、プログラムに参加しました。ヴィクトリア大学では現地の学生と学び、リーダーシップをとっていく中で、英語力が飛躍的にアップ。文化的背景の異なるメンバーと一緒にビジネス上の課題を分析し、その解決策を考え抜くことでチームワークを磨いています。卒業後は学生時代に培ったファイナンス分野の知識と語学力を活かしながら国境を越えて活躍できる人材になりたいです。

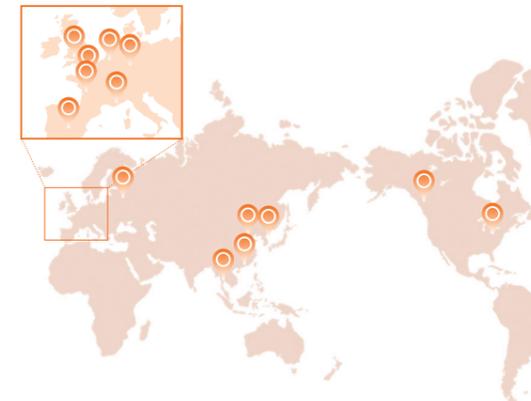
## 経営学部独自の学部間協定校

2024年4月現在

経営学部には、学部独自の海外協定校が14大学15学部あります。「グローバル経営人材の育成」という教育目標の下、海外の経営学系学部との学生交流協定の締結を積極的に進め、学部の国際化を推進しています。

### 〈学部間協定留学の特色〉

1. 経営学部生のみを対象に募集・選考を行う為、学部生により多く留学の機会を提供できます。
2. 派遣先大学で修得した単位は、帰国後、経営学部の単位として認定することができます。
3. 非英語圏の大学であっても英語による授業を履修し、同時に現地語を習得することができます。
4. 留学中の演習科目は指導教員と相談の上、帰国後に認定可能なため、安心してゼミを履修することができます。
5. 留学先の授業料は免除されます(学費は本学へのみ納入します)。



### [ 経営学部学部間協定留学情報 ]

留学に役立つ情報を掲載しております。  
<https://www.meiji.ac.jp/keiei/features/index.html>



国・地域名	協定校名 (14大学15学部)
カナダ	●ヴィクトリア大学 [グスタフソン・ビジネス学部]
アメリカ	●ノースカロライナ大学シャーロット校 [ヘルクカレッジ・オブ・ビジネス]
イギリス	●カーディフ大学 [カーディフビジネススクール]
フランス	●Excelia ●IPAG ビジネススクール ●NEOMA 経営大学院 (NEOMA ビジネススクール)
ドイツ	●オスナブリュック応用科学大学 [経営管理・社会科学部]
スペイン	●IE 大学
フィンランド	●東フィンランド大学 [社会科学・ビジネス学部]
オランダ	●ロッテルダム応用科学大学 [ロッテルダムビジネススクール]
タイ	●シーナカリンウィロート大学 [経済学部/サステイナビリティ研究国際学部]
中国	●対外経済貿易大学 [国際商学院]
香港	●香港城市大学 [商学院]
韓国	●ソウル国立大学 [経営学部]

### STUDENT VOICE

経営学科 4年  
**伊東 佑華**  
鹿児島県立  
鶴丸高等学校卒業

留学先: IE 大学



### 留学先で培った語学力や国際性を 卒業後のキャリアに活かしたい

英語が好きだったので、元々は文学部や国際系の学部を目指していました。しかし進路について考える中で、英語を使って仕事をしたいと気づき、経営学部へ。大学では留学して視野や価値観を広げたいと考えていましたが、入学直後に新型コロナウイルスが流行。思うように行動できない日が続く中で、自分の理想に向かって成長したいという思いが強くなりました。

GREAT プログラムに参加し、先生方の丁寧な指導のもとで英語力を磨く中で、将来の姿を具体的に想像するように。留学では語学力や国際的意識の高まりを得たほか、臨機応変に対応する能力や最後までやり遂げる力が鍛えられました。これらの力を活かし、様々な文化や価値観の違いを受け入れながら社会に貢献していきたいです。

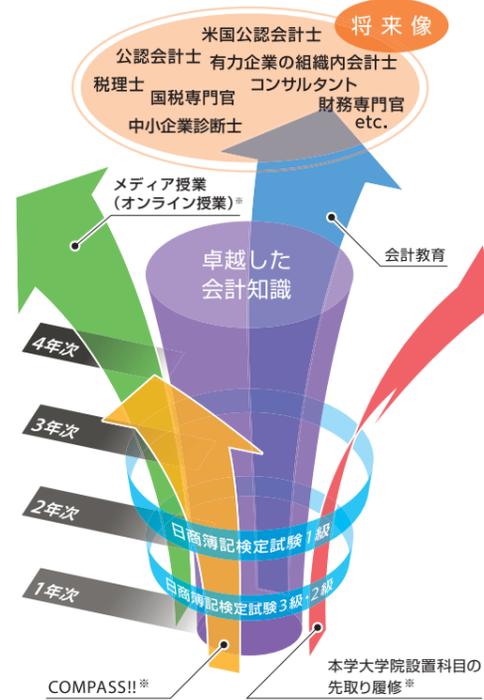


# 闘える「会計力」を身につける「CAP」※

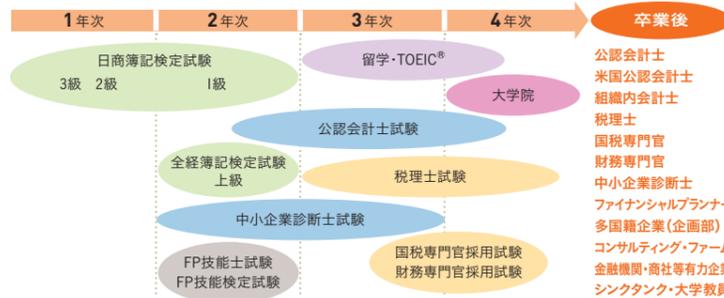
※ Course of Accounting Profession

高度職業会計人養成トラック「CAP」は、公認会計士、税理士、米国公認会計士、国税専門官などの資格試験合格を目指す学生のためのトラックです。簿記検定の資格を取得しているか否かにかかわらず、会計の専門性を武器に、高度職業会計人として社会で活躍したい学生であれば誰でも参加できます。CAPに参加し、修了要件を満たした学生にはCAP修了証書が授与されます。

CAP生は、CAP専用のメディア授業（オンライン授業）である「簿記論Ⅰ・Ⅱ」、「原価計算論Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計総論A・B」、「管理会計総論A・B」を履修できます。メディア授業（オンライン授業）を積極的に導入し、時間割に縛られずに個人のペースで学習できる時間を増やし、各種資格の早期取得を後押ししています。また、入学後すぐに専門的な勉強を始めたい学生向けに「会計学特別講義」と「会計プロセミナー」があり、より早く、より体系的に会計の専門知識を学べます。進路や学習上の悩みについては、会計学科の専任教員が一人ひとりの目標達成をきめ細かくサポートする「COMPASS!!」があります。さらに、本学経営学研究科および会計専門職研究科の大学院授業を先取り履修することもでき、学部レベルを超えた会計の知識とスキルを在学中に学べます。



輝ける未来への道～会計学科をフルに使う！～



※メディア授業(オンライン授業)  
パソコンやインターネットなどのIT技術を活用した新しい授業スタイル。インターネット環境があれば、時間割や場所を問わずに自分のペースで学習できます。

※COMPASS!!  
学生からの質問・相談に会計学科の専任教員が個別に答えるCAP独自のサポート体制。事務室へ質問や相談をするだけで内容に適した教員から個別に助言を受けられます。

※先取り履修  
学部在学中に本学経営学研究科および会計専門職研究科設置科目を履修できる制度。本学部設置科目で不足している専門領域を補うことができます。また、単位を修得した場合、大学院進学後の申請により大学院の単位として認められます。



MESSAGE

小俣 光文 教授

企業が環境変化に対応して生き残っていくためには、自分の強み、弱みを把握して戦略を立てなければなりません。その時に必要なのが組織の状況を把握できるデータです。このデータを提供してくれるのが会計です。現代のように環境変化の激しい時代においては、会計士や税理士といった専門職はもちろんのこと、一般企業や国、地方公共団体、NPOでもビジネスの共通言語である会計を使いこなせる人材が強く求められています。CAPでは、会計を使いこなせる人材になれるよう、様々なプログラムを用意しています。CAPへ参加して将来の道を切り開きましょう。

PROFILE

早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。監査法人朝日新和会計社(現あずさ監査法人)、明海大学経済学部専任講師、東京経済大学准教授を経て現職。主な研究テーマは「モニタリング機能を中心とした企業ガバナンス向上」。

# デジタルイノベーションのための「データ分析力」を身につける「DIGIT」※

※ Digital Insights for Growth and Innovation Track

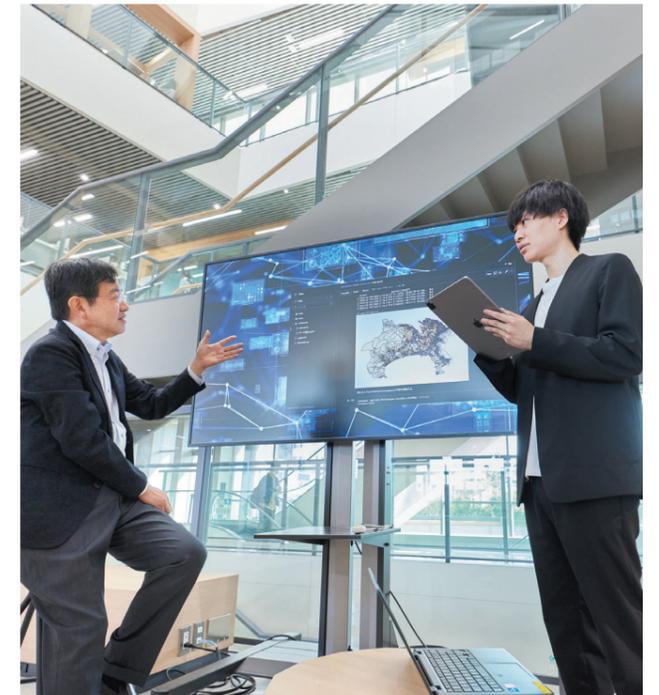
インターネット・IoT・AI等の技術革新によって、社会・経済のデジタル化が進展しています。

「デジタル経営人材開発トラック：DIGIT (Digital Insights for Growth and Innovation Track)」は、データサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してビジネスデータ・ソーシャルデータの分析からインサイトを探索し、新たな社会の在り方やプロセス改革・新製品サービス開発・事業創造等のイノベーションを創造できる「デジタル経営人材」を育成する教育プログラムです。

これからの経営においては、変化に的確に対応し、より良い戦略・製品サービス、政策を立案するうえで、次のような能力が求められます。

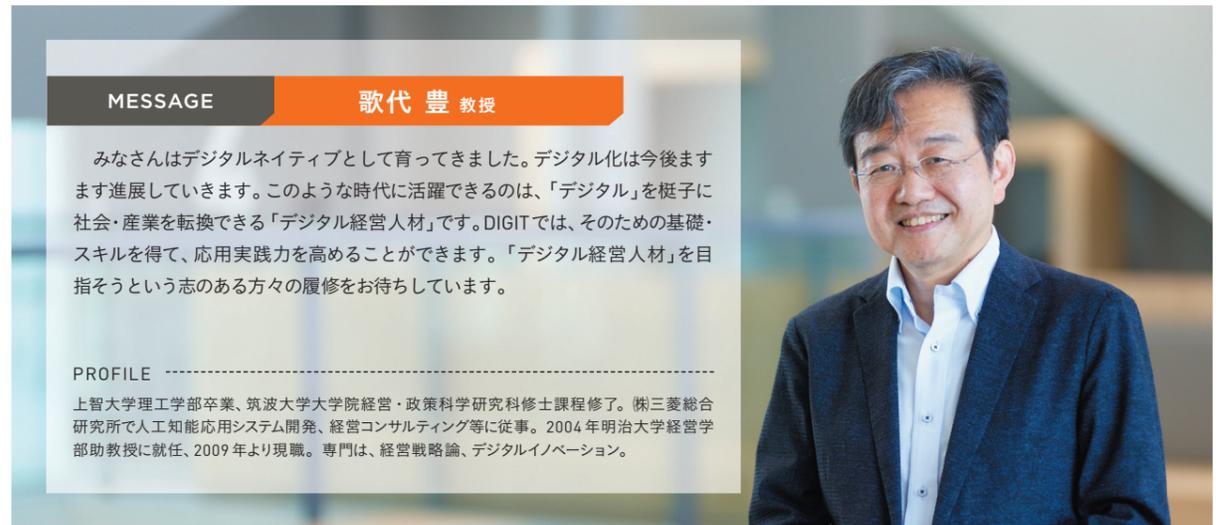
〈デジタル経営人材に求められる能力〉

- ① 経営課題を認識・選定する能力
- ② データ資源・数理・AI等のデジタル技術を活かしてプロセス・製品・事業を革新する能力
- ③ データサイエンス・AI等を活用しデータを分析する能力
- ④ 経営に関する理論・知識を理解し、応用する能力
- ⑤ 課題解決に向けて、ステークホルダー（経営層、データサイエンティスト、顧客やパートナー、地域社会）と連携・調整する能力



DIGITの特徴・ポイント

- 「DIGIT入門演習」による動機付けからスタートし、基礎力・スキルの獲得後に、関連専門知識の習得と合わせ、「DIGIT実践演習」で応用力を開発する
- 全学の「数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム」も併せて修了する



MESSAGE

歌代 豊 教授

みなさんはデジタルネイティブとして育ってこられました。デジタル化は今後ますます進展していきます。このような時代に活躍できるのは、「デジタル」を根拠に社会・産業を転換できる「デジタル経営人材」です。DIGITでは、そのための基礎・スキルを得て、応用実践力を高めることができます。「デジタル経営人材」を目指そうという志のある方々の履修をお待ちしています。

PROFILE

上智大学理工学部卒業、筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程修了。㈱三菱総合研究所で人工知能応用システム開発、経営コンサルティング等に従事。2004年明治大学経営学部助教授に就任、2009年より現職。専門は、経営戦略論、デジタルイノベーション。

# 講義だけじゃない! 「現場を体感」し、 「現場で学ぶ」体験型授業 フィールドスタディ

フィールドスタディは、教室外でのフィールドワーク(現地調査)を通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。

まず教員と一緒に課題に対する問題意識を深めたうえで、「事前学習」で調査対象について学生自らが調べ、「フィールドワーク」において現地で資料収集を行います。「事後学習」では、それらを分析し、独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを作成します。調査対象は、企業、自治体、NPO法人、特定地域の

住民など、科目により様々です。

また、海外の企業調査をしたり、海外諸地域の生活文化を調べたりすることもあります。日本とは違う考え方や感じ方を身をもって体験し、多様性を理解する思考を身につけるのも、フィールドスタディの重要な課題になります。

本科目を履修し修了すると2単位が付与され、卒業要件単位に算入されます。

PICK UP

## フィールドスタディA

人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ：岡山市奉還町の事例から

菊地 端夫 教授

1年生から履修することができるフィールドスタディAでは、岡山市の中心商店街で展開されているまちづくりを題材に、フィールドワークを通じた知見や資料の収集と、それに基づくレポートの作成という連動的プロセスを経験することを目的に毎年実施してきています。具体的には、岡山市内の奉還町を拠点に人と人、人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みを実践している組織(本学卒業生も中心にかかわっている企業)を拠点に、現地でのインタビューや関係機関の訪問を通じて、まちの有機的なつながりを探り出し、どのような組み合わせやマネジメントがそこに住む人に響くことができるのか、生活者の視点にたつて多面的に検討を行っています。これから多くの学生にフィールドワークの醍醐味を味わってもらえればと願っています。



グループ研究の成果発表をしているところ



現地での聞きこみの様子

(2023年度実施時の写真)

STUDENT VOICE



1年  
菱田 梨乃  
三重県  
私立暁高等学校卒業

## 現地に赴き、見て、話を聞くことで 初めて得られる知見がある

フィールドスタディの一番の魅力は「教室の外で本物から学べる」ことです。幼いころ、両親から本物に触れて学ぶ機会を数多く与えてもらっていましたが、現地で本物に触れるからこそ学べるがあると思います。事前学習ではグループに分かれ、皆で問題意識を深めることで、視野を広げます。実習の機会は一度きり。その中で様々な気づきを得るために多角的にものこを見ることの重要

さを実感しました。生活者視点で思いを巡らせると、今まで気づけなかった面白さや深さを知ることができます。現場での学びを通じて、まちづくりや地域活性化というものが、今まで抱いていたイメージと大きく異なることを痛感しました。物事の表層だけではなく、背後に隠れた本質に迫ることができるようになりました。ここで得た知見をこれからの学びに活かしていきたいです。

[ 2024年度フィールドスタディ テーマ一覧 ]

※年度によりテーマ・内容を変更する場合があります。

履修開始年次	科目名	開講	テーマ	主な実習地(予定)
1年～	フィールドスタディA	春	地域企業・産業調査 人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ：岡山市奉還町の事例から	北海道・北見市 岡山県・岡山市
	フィールドスタディB	秋	地域企業・産業調査 自らなりわいを創る 地域の潜在力を生かしたまちづくり：尾道市を中心に 稲盛哲学を学ぶ	滋賀県・京都府 長野県・上田市または大分県・別府市 広島県・尾道市 京都府・京都市
2年～	フィールドスタディC	春	日中企業の経営管理の比較 京都企業の歴史と現在 中堅企業の海外戦略 地方都市の現場 ものづくり現場の観察 地域企業・産業調査	長野県・飯田市 京都府・京都市 日本国内 大分県別府市・佐伯市 日本国内 新潟市・長岡市
	フィールドスタディD	秋	米国企業調査 コンテンツのグローバル化に関する実態調査 日中企業の経営管理の比較 地域企業・産業調査 大規模自然災害と地域のレジリエンス 製造業現場のフィールドワーク EU企業の経営の多様性 新興国製造業調査 マレーシアにおける日本企業のマーケティング戦略	アメリカ・ポータランド他 フランス・パリ 日本国内 大阪府・東大阪市 福島県・いわき市 日本国内 欧州連合加盟国 ベトナム・ホーチミン マレーシア・クアラルンプール他

## フィールドスタディD

スイスとドイツにおけるブロックチェーン技術の活用に関する現地調査

清水 一之 教授

本フィールドスタディでは、スイスとドイツにおけるブロックチェーン技術の活用とその適用可能性に焦点を当て、10泊11日の日程で現地調査を行いました。スイスでは、伝統的に金融業の秘密保護と顧客情報の保護が重視されてきましたが、脱税対策の強化により変化が生じています。この中で、ブロックチェーン技術を利用した暗号資産事業が注目され、学生が主体的にアポを取り、Polkadot社やチューリッヒ大学ブロックチェーン・センターを訪問しました。また、ドイツではVolkswagen社やPorsche社を訪問し、特に自動車産業におけるブロックチェーン技術の応用とEV化への適用事例について考察し、訪問先と意見交換を行いました。



Xフォロワー2万人超えのスイスWeb3業界では有名なPolkadot社のラブーン氏と業界の可能性を我々の問題意識を共有しました。

(2023年実施時の写真)

**MESSAGE** 清水 一之 教授

このフィールドスタディは、欧米におけるブロックチェーン技術の深い理解を目指す貴重な機会です。金融業の秘密保護から暗号資産事業への移行、自動車産業での技術革新に至るまで、幅広い応用可能性を探求します。新規事業や起業における知識と理解の深化を目指し、訪問地での学びを活かし、技術の可能性や社会への影響を考察しましょう。この体験は、将来に向けた洞察と実践的な学びの場となります。ブロックチェーン技術に限らず、参加者と共に研究テーマを柔軟に考え、皆さんの積極的な参加と貢献を期待しています。

**PROFILE**

明治大学商学研究科博士課程修了。博士。明治大学経営学部専任講師を経て現在、明治大学経営学教授。アイルランド共和国ケミー・ビジネス・スクール、リムリック大学客員研究員。主にコーポレート・ガバナンス、ステークホルダー論、インダストリー4.0(第4次産業革命)、ブロックチェーン技術の産業への活用可能性について研究。

# グローバル・サービスマーケティング



グローバル・サービスマーケティングB (2024年2月実施) 実習の様子

グローバル・サービスマーケティング (GSL) は、経営学部独自の海外サービスマーケティング科目です。サービスマーケティングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」(サービス) 活動を通じて課題解決のための知識を修得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣のなかでボランティアを経験

し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決するための社会貢献活動を行います。本科目は、年2講座開講しており、GSL A (春学期開講) は夏休み期間中、GSL B (秋学期開講) は春休み期間中に、海外において約2週間の実習を行います。本科目を履修し修了すると2単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

[ 活動内容例 (2023年度実施) ] ※実習先や実習期間は都合により変更する場合があります。

<p><b>グローバル・サービスマーケティングB</b></p> <p>〈実習期間〉2月~3月(15日間)    〈実習先〉フィリピン共和国(セブ島)</p> <p>小関 隆志 教授</p>	<p>① 墓地スラムで住民に生活状況の聞き取り、子どもたちとの交流、集会所のデコレーション</p> <p>② チャペル(地元のコミュニティ施設)で子どもたちと交流(簡単な挨拶言葉を教え合うなど)</p> <p>③ 山村集落で住民に生活状況の聞き取り、子どもたちと一緒に遊ぶ</p> <p>④ ゴミ山スラム(ゴミを拾って生活する人々の集落)への訪問視察と食物の提供</p> <p>⑤ ストリートチルドレンへの食事提供</p> <p>⑥ 海辺にあるスラム地区の住宅を訪問、住民への聞き取り</p>
---	--

**STUDENT VOICE**

経営学科 4年  
**玉川 小都**  
新潟県  
私立新潟清心女子高等学校  
卒業

## 現地の方々とかかわる中でよりリアルな支援の方法を検討

日本と異なる環境を直接目で見て、社会問題について考えたいと思い、グローバル・サービスマーケティングを受講しました。目の前の課題に対して自分たちには何が出来るかを考え、現地の方と英語でコミュニケーションをとり、生の声を聞きながらどのような活動を行うか皆で案を出し合いました。日本とは環境・文化が異なる中で、現地の方が継続して取り組める支援方法を議論。コストの問題など、

解決すべき課題は色々あります。現地での活動はトライアルアンドエラーの連続でしたが、失敗しても諦めない粘り強さが身につきました。また、相手が必要としていることは何かをくみ取って応えられるように意識して行動するようになりました。現地の方と対話しながら課題に取り組んだ経験を活かして、困っている人々に手を差し伸べられる人材として活躍していきたいです。



# キャリア形成入門



大学時代は、学問的・専門的な知識を獲得することともに、社会人・職業人として、自らのキャリアを主体的に形成する準備をしていくことが求められます。キャリア形成入門は、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。

授業は、経営学部の特長を活かした、将来のキャリア形成の場となる企業や非営利組織の分野の経験豊かな講師陣によるオムニバス形式となっており、各分野の理解を深めるための視点の提供を行います。また、キャリアプランの作成やビジネスマナーの習得など一部実習形式を取り入れています。

# 経営総合講義A・B

経営総合講義A・Bは、PBL (Project Based Learning) 型の実践授業です。授業では、実際のビジネスの現場で直面するような問題が課題として取り扱われます。受講生はチームに分かれ、協力して課題解決の方策を考え、調べ、検討し、その結果をまとめ、プレゼンテーションします。実際のビジネス・シーンに限りなく近い体験ができます。

春学期開講の「経営総合講義A」では、企業の第一線で活躍す

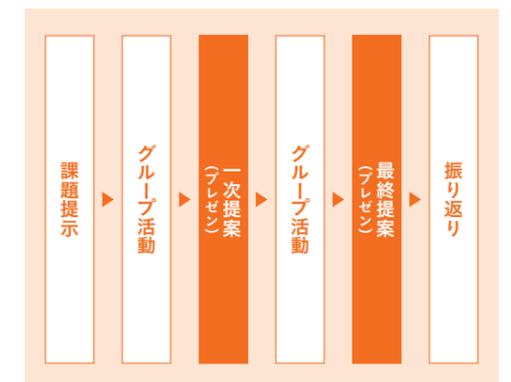
るビジネスパーソンをお招きし、その業界が直面する課題に取り組みます。秋学期開講の「経営総合講義B」では、経営学の理論を使ったより発展的な課題解決型のグループワークを行います。

この授業でのリアルな体験を通じて、社会で求められるスキルに気づき、大学生活で何を学ぶべきかを感じ取ってほしいと思います。

[ 協力企業と課題 (2023年度・経営総合講義A・B) ]

企業	テーマ
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド	・どうしたら、海外のお客さまに入室していただけるか? ・さらに、いかにアクティブ会員を増やしロイヤルカスタマーまで醸成するか? ・もちろん、国内会員の入会もどう増やしていくか? ・そして、いかにシンプルで誰もがわかりやすい内容でうちだすか?
東急ホテルズ&リゾーツ株式会社	STREAM HOTELブランド(札幌・渋谷)の認知拡大施策を考える
三井住友海上火災保険株式会社	ニューリスカマーケへの新たな取り組みを考案せよ
株式会社中村屋	コンビニのカウンター(レジ横)で新商品を発売するにあたり、商品コンセプトと、その商品を売る什器(機械)のコンセプト、その商品を売り出す為の4P戦略について
JA 全中	どうしたら、より多くの方々に、食に関する世界や日本の状況に関心を持ってもらうことができるでしょうか。イベントを行う等の施策を中心に考えてみてください。
RDC (がってん寿司)	窮地を救え! 新卒採用サイトの新提案
イトアイト (大阪王将)	実際の店舗で、「メニューを開発」食シーンに価値を生み出そう!

[ 講義の流れ (以下のフローを2回) ]



# 特別講義

時代の要請に応じたテーマについて、多彩な授業形態による特別講義を開講することにより、独自の特色ある教育を展開しています。

授業回ごとに学内外から広く識者をお招きするオムニバス形式の授業を設置しており、第一線で活躍する実務家・専門家のゲスト講師から、最新の事例や情勢について学ぶことができます。また、英語により学ぶことができる授業やプロジェクト型学習の授業も開講しています。



経営学特別講義A 学生のための社長学

# 経営学部のゼミナール教育

経営学部のゼミナール(演習)は、1年次から履修可能な「教養演習」「外国語教養演習」「基礎専門演習」と2～4年次の「演習」があります。「演習」では合宿や他大学との交流を行うゼミもあり、4年次には大学生活の集大成となる卒業論文を書きます。

1つのテーマについて深く掘り下げて研究する方法や、論理的にまとめて発表する方法を学びながら、苦労してつくり上げた卒業論文は大学生生活の集大成といえるでしょう。

## 注目の演習科目

### 人事労務管理を中心にして企業経営と社会を学ぼう

働くって、働かせるってどういうことだろう。正社員、非正規、フリーランスのようにいろいろなかたちがあります。新卒から定年間の人までの年齢の幅、男性、女性や多様な性、外国人。働く側は対価としての賃金を得る一方で、働かせる側は労務費としてコストに

なります。それだけでなく、働く人も働かせる側もともに社会の構成する要素の一つです。家庭、地域、学校、国というように誰もがどこかに所属しています。これらにまつわることによって意見が寄せ合うことを通じて、就職や進学に進む力を養っていきます。

山崎 憲 准教授



### 会計の歴史を知ることで発想力を養う

会計は企業の経営活動を情報化する手続きであり、その情報は投資家の投資意志決定や、企業内における経営の意志決定に活用される重要なものです。会計は少なくとも500年を超える歴史があり、商業や法制度とともに発展して今日に至ります。会計の歴史を

知ることは、その当時生じていた問題を先人たちがどのように乗り越えてきたのかを知ることにつながります。当ゼミは、現代会計のテーマを出発点として、その論点の歴史に触れることで、現代会計が抱える課題解決のための発想力を養います。

森田 広大 専任講師



### 非営利組織・社会的企業による地域課題解決、地域振興の取り組み

地域課題は現地に足を運び、人に話を聞き、体験してわかることも多いので、合宿は訪問調査が中心ですし、ゲストをお呼びする機会もたびたびあります。3年のグループ研究も、4年の卒業論文も自ら問いを発して答えを出すプロセスを大事にしています。自由にテーマを決

められる半面、問いを立てるのは自分と向き合うことなので、そう簡単ではありませんが、仲間と支え合って、壁を乗り越えていきます！多様な個性の人が互いのことに興味をいだき、支え合う関係がこのゼミにはあります。ぜひ、ゼミのサイトをご覧ください。

小関 隆志 教授



### 経営学部でも地理学は学べます

中学・高校の地理では、与えられた問題に解答できればOKです。私がゼミ生に取り組んでほしいと思っているのは、自分の手で問題を作るところから始めて、それに答えることです。「なぜそこで?」という地理的な関心向けさえすれば、限界集落、高齢化、都市開発、外国人労働者の増加、地域プラ

ンド戦略、まちづくり・むらおこし、地域の観光戦略、工場閉鎖など、何でも地理学の問題になりえます。私は地理が好きで、地理学の研究者になりました。地理は好きだけど就職を考えると専門にするのはちょっと…と思っている人には、経営学部で地理学を学ぶことをお勧めします。

中澤 高志 教授



### 世界を知ることを通して、英語教育について学ぶ

当ゼミは英語教育と地域研究が主要なテーマとなっています。1年目にアメリカを中心に世界の経済、文化、教育等を研究し、翌年度の学習内容の背景の理解を深めることを目的としています。2年目は春学期に世界の英語教育、秋学期に日本(留学生の場合は出身国)の英語教育

を研究します。英語教育については、学校種別、教材、教員、カリキュラム、評価、また各国特有の事情に注意しながら研究します。英語の専門書等を適宜活用しながら、学生個人の興味に沿って理解を深められるよう指導しています。授業は原則として全て英語で行っています。

真継 左和子 専任講師



## STUDENT VOICE

経営学科 4年  
城福 恵美里

大阪府  
私立関西大倉高等学校卒業



## ゼミで得た学びを 部活動のマネジメントに活かす

スポーツマネジメントについて学ぶゼミに所属しています。私は男子ラクロス部のマネージャーをしていましたが、自分の他にも体育会学生が在籍しており、他の部活の取り組みを聞いて自チームの発展のために参考にするなど、組織を強くするために何をすべきか学ぶことができました。学生たちがそ

れぞれ自身の活動を振り返りながら「自分だったら」「このスポーツならば」という視点で現状を見つめ直すことができる良い環境です。社会人になっても、自身の立ち位置や現状を把握して自分の意見を持ち、それを周りと共有しながら解決していけるように学びを活かしたいと思います。

# 国際社会で生かせる力を身につける

経営学部では入学時に英語・ドイツ語・フランス語など7つの言語から2カ国語を選択します。英語の場合、GREAT [詳細はP.07](#) 以外の学生は1年次のみ必修です。4技能の強化をはじめとした様々な内容のうち、学びたい2クラスを選びます。2年次にはさらに自由な選択が

可能で、英語の選択はもちろん、初習外国語の時間を増やすことや、全学の共通授業で新たな言語を履修することもできます。海外留学や外国語検定試験のスコアに基づく単位認定を申請することも可能です。多様な選択肢の中からグローバルな能力を育ててください。

## [ 経営学部の外国語科目 ]

### 1・2年次

・英語  
・ドイツ語  
・フランス語  
・中国語  
・ロシア語  
・韓国語  
・日本語(留学生向け)

### 1～4年次

・TOEFL Reading / Listening / Speaking / Writing  
・TOEFL Preparation  
・English Exams  
・Speech and Debate  
・Genres of Writing  
・英語スペシャルスタディ  
・英語表現論  
・英語コミュニケーション(初級、中級、上級)  
・ドイツ語コミュニケーション(初級、中級、上級)  
・フランス語コミュニケーション(初級、中級、上級)  
・中国語コミュニケーション(初級、中級、上級)

## [ グローバル社会で通用するコミュニケーション能力向上のためのプログラム ]

### 英語プレゼンテーション大会

英語でのプレゼンテーション能力の向上を目的として開催しています。個人、グループを問わず、これまで研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターは表彰され、賞金が授与されます。

### 英語ライティングコンテスト

「書く」英語力の向上を目的として、開催しています。特にビジネスの現場では、英語でのEメールや、自分の考えを発信することが求められます。800語程度の英語エッセイの中で、構想力、論理展開、リサーチスキル、十分かつ簡潔な英語表現力を競います。

### i-meeting (アイ・ミーティング)

i-meetingとは、経営学部で行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、および教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めています。

## 経営学部独自の外国語検定サポート 経営学部では語学修得のサポートのため、各外国語検定の試験料補助を行っています。

### TOEIC® 試験

IP : 年1回・1年次は年2回(全額補助)

経営学部では、獲得したTOEIC®スコアを基準に自分に合った英語クラスを選択・履修させ、定期的な英語力チェックを行うことでさらなるスコアアップにつなげています。

### TOEFL® 試験

ITP : 年2回(全額補助)、iBT : 年1回

### IELTS™ 試験

※TOEFL iBT試験、IELTS試験は年間1人1検定のみ助成

英語圏の多くの大学がTOEFL®やIELTS™のスコアを交換留学の出願条件としており、留学を希望する人は、留学希望先の大学が要求するスコアを取得しておく必要があります。

### 各種外国語検定試験

春学期、秋学期各期1回(全額補助)

初習外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語)の外国語検定試験について、春季または秋季のいずれかから年1回、検定料を全額補助しています。

### 外国語検定試験による単位認定

TOEIC®、TOEFL ITP®、TOEFL iBT®、IELTS™の最終到達スコアに応じて「認定科目(外国語科目)」の単位が認定されます。

## PICK UP

## 注目授業



### Genres of Writing

キアナン, パトリック J. 教授

### 状況により応用できるような 英語ライティング技術を身につける

Genres of Writingは、英語ライティングが場面、目的、相手により変わるところに注目します。重要なポイントは、それが無敵ではなく、ライティングの種類により決まった形や表現が多いことです。この授業では、ビジネスによく使われるライティングジャンル(メール、レポート、ブログなど)の英文を読み真似することで、ビジネス社会によくあるライティングジャンルに慣れると同時に、将来新しい文章表現に出会った時の分析力を身につけます。そうすることで、状況や相手によりどんな表現が一番相応しいかを考えるようになり、自分自身で上手くライティングできるようになります。



### 中国語

野田 寛達 准教授

### 中国の発する匂い、 呼吸を感じとる

日本では日々中国に関して様々な報道がなされていますが、それを見る人は自然とその情報を日本語というフィルターを通して得ています。そのため実際のニュアンスや報道の都合上省略された側面は知るよしもありません。一次情報の持つニュアンスと呼ばれる匂い、呼吸というものは、現地の言葉を理解して初めて感じ取ることができるものです。中国語を学んで、フィルターを取り払った世界をちょっと覗いてみませんか。

## 幅広い知識と「社会人基礎力」を養う

「教養科目」は、専門分野を学ぶための基礎学力を身につけるとともに、将来過ごすことになる職場や地域社会で多様な人々とかかわりをもちながら生きていくために必要な「社会人基礎力」を育成することを目的としています。授業では多様性を理解し、多角的なものごとを見る眼を養うことに力を入れており、社会で働く際に必要不可欠である柔軟な思考力と課題を自ら発見する力を身につけられるよう多様な科目を配置しています。「Global Issues」のように英語によって行われる授業も用意されています。

基本的なスキルを身につけるための授業には、論理的に筋道の通った文章を書く能力を養い、論文やレポートの書き方を学べる「レポート・論文作成法」があります。さらに、先生と近い距離で気軽に質問をしたり話し合いをしたりしながらあるテーマに基づいて深く勉強することができる「教養演習」や「外国語教養演習」のような少人数ゼミ形式の授業もあります。



### [ 経営学部の多彩な教養科目 ]

PHILOSOPHY	SCIENCE	SOCIETY	EXERCISE	READING & WRITING	DISCUSSION & COMMUNICATION
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会思想</li> <li>言語思想</li> <li>倫理思想</li> <li>哲学</li> <li>宗教思想</li> <li>哲学基礎論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然科学思想史</li> <li>統計学</li> <li>化学</li> <li>健康科学</li> <li>生理学</li> <li>物理学</li> <li>生物学</li> <li>文化人類学</li> <li>数学</li> <li>自然人類学</li> <li>地理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会学</li> <li>心理学</li> <li>西洋史(総論/各論)</li> <li>日本事情</li> <li>Global Issues</li> <li>経営総合講義</li> <li>政治学</li> <li>法学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ・レジャー・レクリエーション論</li> <li>体育実技</li> <li>トレーニングの科学</li> <li>現代社会とスポーツ</li> <li>選択体育実技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国文学(英米、ドイツ、フランス、中国)</li> <li>言語表現論</li> <li>日本文学</li> <li>日本文学(現代)</li> <li>手話コミュニケーション(初級・中級)</li> <li>レポート・論文作成法</li> <li>日本語論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教養演習</li> <li>外国語教養演習(J/E)</li> </ul>

## 「基礎専門科目」で専門教育の基盤をつくる

「基礎専門科目」は各学科の専門的学習のための基盤となる科目です。1年次から履修できる科目も多く、早くから経営にかかわる専門的学習ができます。

社会の現場においては、組織構造や組織構成メンバーの人間関係・心理・健康など組織内の要因とともに、国内外の経済・法・政治・文化・社会・自然環境など組織外的要因も対象として、広い視野から問題を捉えて考察し、様々な提案ができることが必要です。

またITやAIの発展にともなうビッグデータ活用や第4次産業革命、企業活動の国際化、地域における多文化共生などへの対応が重要な現代において活躍するためには、イノベーションにともなう企業や経済・社会の歴史の変容に関する経営学的理解とともに、情報処理、統計処理、調査、専門的コミュニケーションなどのスキルを大学時代にさらに磨くことも重要です。



### [ 経営学部の基礎専門科目 ]

分類	科目名		
経営学の基礎に関する基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記論</li> <li>Fundamentals of Management (E)</li> <li>経営史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営基礎数学</li> <li>経営心理学</li> <li>マーケティング基礎論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報化社会論</li> </ul>
経営学の応用に関する基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営統計学</li> <li>社会調査法</li> <li>経営社会学</li> <li>産業生理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営と環境</li> <li>企業の社会的責任論 (J/E)</li> <li>ネット・ビジネス論 (J/E)</li> <li>コンテンツ・ビジネス論 (J/E)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略経営情報システム論</li> <li>経営文献研究</li> </ul>
経営にかかわる経済を学ぶ基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済原論</li> <li>ビジネス・エコノミックス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Japanese Economy (E)</li> <li>経済史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本経済史</li> <li>経済地理学</li> </ul>
経営にかかわる法律を学ぶ基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス法</li> <li>会社法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手形法・小切手法</li> <li>財産法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税法</li> <li>労働法</li> </ul>
経営の国際化に対応した基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>Transcultural Business Communication (E)</li> <li>Strategic Business Communication (E)</li> <li>イギリス文化論</li> <li>アメリカ文化論 (J/E)</li> <li>ドイツ文化論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東欧文化論</li> <li>中国文化論</li> <li>フランス文化論</li> <li>東南アジア文化論</li> <li>日本文化論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外経営事情</li> <li>ビジネス英語 (J/E)</li> <li>Business Presentation (E)</li> </ul>
時代の要請に応じたテーマを取り入れた講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎専門特別講義</li> </ul>		
少人数ゼミ形式の基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎専門演習 (J/E)</li> </ul>		

※(E)は「英語で実施する授業科目」を示します。  
※(J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

### PICK UP 注目授業



**健康科学**  
鈴井 正敏 教授  
ライフスタイルから健康を科学する

現代の生活環境はたいへん便利になってきました。しかし、一方ではその便利な生活自体が健康に対するリスクとなっています。運動、栄養、休養という健康づくりの3本柱に加えて、アルコールやたばこ、ドラッグ等の悪習慣マネジメント、ストレスマネジメント、セクシャルヘイビアなど、ライフスタイルの要因からリスクを理解するとともに、豊かな人生を送るために現代の健康とは何を意味するのか考えてみましょう。



**西洋史(総論/各論)**  
薩摩 秀登 教授  
「今」について考えるために

歴史は、学んだことがすぐその場で役に立つ学問ではないかもしれませんが、過去の人たちがどのような社会でどのように生きてきたかを知ることは、現代という時代について、そして今そこに生きている私たち自身について考えるためにも大いに参考になり、支えになるはずです。授業では、少し古い時代までヨーロッパの歴史をさかのぼり、単なる事実の経過の背後に見えてくる大きな流れを捉えてみたいと思います。

### PICK UP 注目授業



**ドイツ文化論**  
畑 一成 専任講師  
ドイツを知って、EUのルール作りを理解しよう

ドイツは欧州最大国で、EUのルール作りに大きな影響力をもっています。近年のドイツでは、環境問題とデジタル社会が、最重要課題とされています。授業では、この課題の背景にある科学史や哲学史を丁寧にたどりながら、環境とデジタルの本質を考察し、現代のEUのルール作りにつながるのかを理解します。哲学的思考や科学的思考の習得を通じて、ルール形成能力の獲得を目指します。



**ビジネス・エコノミックス**  
三上 真寛 教授  
市場や景気の仕組みを分析する

テレビや新聞やインターネットは、おびただしい数の経済ニュースで溢れ、私たちはメディアや身の回りで見聞きした情報を頼りに、漠然とした「市場」や「景気」のイメージをもっていますが、その正体は一体何でしょうか。どのような仕組みで動き、家計や企業はどのような影響を受けるのでしょうか。この授業では、様々なグラフや経済指標に触れながら、現実の経済動向の理解や経営意思決定に役立つ経済学を学んでいきます。



今日の急激で大きな経営環境の変化は、企業と社会に多くの  
変革を迫っています。そのため経営学科では、近未来の変化を  
機敏に読み解き、企業の経営の方向性を定めることができる人  
材を育成することを目的としています。急速な経済のグローバ  
ル化に対応する国際経営戦略に関する科目や、働き甲斐や雇用  
問題といった身近な問題に対応する人的資源のマネジメントに

関する科目、知識情報化の進展に対応する情報と技術のマネジ  
メントに関する科目を有機的に配置し、理論・歴史・実証といっ  
た様々な視点から展開しています。さらにゼミナールでは、専門  
に特化し、より深く学んでいきます。皆さんも時代の要請に応え  
た幅広いカリキュラムを通し、一緒に経営学科で、現代の企業  
と社会を多面的に読み解いていきましょう。

【 学科設置科目 】

注) ※は基礎専門科目、(E)は「英語で実施する授業科目」、(J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」、(GSBA)は「大学院経営学研究科との共同設置科目」を示します。

学部共通		経営学科			
1年次	2年次	3年次～4年次	卒業後		
<p><b>学部必修</b></p> <p>経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学</p> <p><b>基礎専門</b></p> <p>簿記論 / 簿記技能 経済原論、経済史 日本経済史、経営史 ビジネス法 情報化社会論 経営心理学 経営基礎数学 社会調査法 マーケティング基礎論 (2年次から) 基礎専門演習 基礎専門特別講義 など</p> <p>経営学特別講義</p>	<p><b>学科学科</b></p> <p><b>(日本の企業)</b> 企業論 <b>(人と組織)</b> 経営管理論</p> <p><b>(理念・文化・歴史)</b> 経営哲学、経営学史、日本企業家史 日本経営史、国際経営史 経営文化論、文化論 (英 (J/E)、米、仏、独、中、日、 東南アジア、東欧) Family Business (GSBA) (E)</p> <p><b>(戦略・マーケティング)</b> 経営戦略論 イノベーション・マネジメント マーケティング・マネジメント グローバル・マーケティング論 Strategic Marketing (E) E Commerce (GSBA) (E) Strategic Management (GSBA) (E) International Marketing (GSBA) (E) Service Marketing (GSBA) (E)</p> <p><b>(モノ・金・情報とその分析)</b> 生産管理論、経営技術論 ナレッジ・マネジメント論 財務管理論、経営統計学 現代コーポレートファイナンス論 リスクマネジメント論 技術戦略論、経営情報論 Information Ethics (GSBA) (E) Information Science (GSBA) (E) Corporate Finance (GSBA) (E) Investments (GSBA) (E)</p>	<p><b>(人と組織)</b> 経営社会学<sup>※</sup>、経営組織論、能力開発論 人事労務管理論、雇用関係論 組織行動論、労使関係論<sup>※</sup> 企業内教育論、産業生理学<sup>※</sup> Organizational Behavior (GSBA) (E) Human Resource Management (GSBA) (E)</p> <p><b>(グローバル)</b> Transcultural Management (E) Comparative Business Management (E) 国際経営論 (J/E) 比較経営論 (米、中、露・東欧、西欧) 経営学外国語講義 Transnational Management (GSBA) (E)</p> <p><b>(日本の企業)</b> Strategic Analysis of Japanese Companies (E) Innovation Strategy in Japan (E) 日本経営論、中小企業論 ベンチャービジネス論</p> <p><b>(法律関係)</b> 会社法<sup>※</sup>など</p>	<p><b>経営者・起業家 ベンチャー企業 事業継承 戦略スタッフ</b></p> <p><b>専門職 経営コンサルタント 中小企業診断士 社会保険労務士</b></p> <p><b>色々な業界 メーカー 金融 商社 情報通信 保険 不動産</b></p>	<p><b>学科学科</b></p> <p><b>学科学科</b></p>	

学科によらず共通の科目についてはP.06を参照してください

STUDENT VOICE

「人」に着目して  
マーケティングを学び  
セルフブランディング  
に活かせるように

経営学科3年  
**松井 彩希**  
長野県  
諏訪清陵高等学校卒業



Q 経営学科の魅力は？

**Answer** 学んだことをすぐに活かせるのが魅力です。組織行動論や経営心理学といったマネジメント系の授業では、自分事として共感できる部分も多く理解がしやすいと感じました。また、グローバル・マーケティングの学びも面白く、海外に行ったときに、日本との違いを経営的な視点で気づけるようになりました。

Q 印象に残っている授業は？

**Answer** 組織行動論とマーケティング・マネジメントです。「組織行動論」では人のパーソナリティについて学び、同じ価値観を持った人が集まると組織に悪影響をもたらす可能性があり、多様性の大切さを改めて実感。「マーケティング・マネジメント」ではブランディング戦略について学び、他者とのかかわりの中で、自分をどのように見せるかを考えるようになりました。

Q 経営学科で自分が成長できたことは？

**Answer** 企業のインターンに参加し様々な価値観に触れる中で、組織行動論で学んだ多様性の重要性を思い出し自分と違う考え方に対しても寛容に接することができたと思います。また、ブランディング能力については自己分析をするうえで役立っていると感じます。自分の強みを意識し、どうすれば注目させられるかを意識するようになりました。

Q 受験生にメッセージをお願いします。

**Answer** 経営学は「人」「マーケティング」に興味がある方にお勧めの学部です。私が経営学部に入学した理由はブランディングについて興味があったからでした。進路決定において重要なことは、自分の興味関心に正直になることだと思います。4年間を有意義に過ごすために、自分が学びたい分野は何かを考えて進路を選択することをおすすめします。

PICK UP

授業

世界視点のマーケティング

グローバル・  
マーケティング論

**古川 裕康**  
准教授



近くにあるお店に入ってみてください。そこには日本発の商品だけでなく、海外発の商品も沢山並んでいます。いまや企業には国内だけでなく、海外のお客さんが求めているモノ・コト、行動様式、価値観を理解することが求められているのです。海外を見る事は、自分と相手の「違い」を知る事です。違いをどう活用してビジネスに繋げるか。これを考える事は、今までは気が付かなかった自分の姿を知るきっかけにもなります。

組織をめぐる見えないチカラ

経営組織論

**谷口 諒**  
専任講師



組織は、個人の集まりですが、単なる「集まり」ではありません。人が集団をなし、組織をつくりあげると、良くも悪くも、そこには見えないチカラが生まれるのです。そのため、組織は、ひとりであれば不可能なことができたり、逆に、しなかったはずの愚かな行為を取ってしまったりもします。本講義では、個人、集団、組織、社会の視点に分けて、組織をめぐる見えないチカラと一緒に考えていきます。

STUDENT VOICE

グローバル・マーケティング論

経営学科3年  
**原 菜那子**  
長野県  
私立長野清泉水学院高等学校卒業



複雑な事象でも、実例をもとに「なぜ」を解消できる

人を魅了する方法や商品の売り方などに興味があり受講しました。先生の解説は身近な例を用いた分かりやすいもので、難しい専門用語もスムーズに理解することができます。企業がグローバル・マーケティングについてどの

ように考えているのか、分かりやすく学ぶことができ、企業に対する知識も深まりました。また、受講者の前でプレゼンをする機会がありましたが、学んだ内容を自分の言葉で説明する力がついた良い経験でした。



グローバル化と情報通信技術の進展により、社会の変化は速く、複雑化しています。営利・非営利にかかわらず、組織をマネジメントする人には、組織の現状を的確に把握し、先行きを見透し、その情報を関係者間で共有できることが重要です。

「Accounting (会計)」は独自の仕組みを通じて、組織の経済活動をデータ化します。そのデータを利用・分析することによって組織の現状を解明でき、関係者に説明できるようになります。会計は組織運営に携わる人々の助けとなり、会計を使いこなせる能力は強力な武器となります。

会計学科では、組織内部のマネジメントに役立つ会計から組織外部へのディスクロージャー (情報開示) に役立つ会計まで幅広く学ぶことができます。体系的なカリキュラムを通じて、会計データの作成、理解、分析、活用に必要な能力を養います。また、経営学部には、公認会計士や税理士などをを目指す学生のための「高度職業会計人養成トラック CAP (Course of Accounting Profession)」があり、会計学科がCAPを全面的に支援しています。会計は国境を越えて用いられる世界共通の言語であり、グローバル価値創造人材には欠かせません。会計の力を磨き、専門性を武器に、自信をもって世界へ羽ばたいてください。

【 学科設置科目 】

注) (1) は「1年次から履修できる学科専門科目」、(2) は基礎専門科目や他学科専門科目で履修を推奨する科目、(E) は「英語で実施する授業科目」、(J/E) は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」、(GSBA) は「大学院経営学研究科との共同設置科目」を示します。

学部共通		会計学科			
1年次	2年次	3年次～4年次	卒業後		
<b>学部必修</b> 経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学  <b>基礎専門</b> 簿記論 / 簿記技能 経済原論、経済史 日本経済史、経営史 ビジネス法 情報化社会学 経営心理学 経営基礎数学 社会調査法 マーケティング基礎論 (2年次から) 基礎専門演習 基礎専門特別講義 など	<b>学科選択</b> 〈マネジメント〉 管理会計総論 <sup>(1)</sup> 原価計算論 <sup>(1)</sup> 〈ディスクロージャー〉 財務会計総論 <sup>(1)</sup> 中級簿記論 上級簿記論 Basic Accounting <sup>(1)(E)</sup>  <b>学科専門</b> 〈マネジメント〉 原価管理論 マネジメント・コントロール 経営分析論 会計情報システム論 生産管理論 <sup>(2)</sup> Management Accounting (E) 〈ディスクロージャー〉 財務諸表論 監査論 現代会計基準論 環境会計論 NPO会計論 公会計論 Financial Accounting (E) Advanced Financial Accounting (GSBA) (E) Financial Statement Analysis (GSBA) (E)	<b>グローバル</b> 会計学外国書講読 国際財務報告論 英文会計 会計史 〈タックス&ロー〉 法人税法 税務会計論 会社法 <sup>(2)</sup> 手形法・小切手法 <sup>(2)</sup> 財産法 <sup>(2)</sup> 税法 <sup>(2)</sup> 労働法 <sup>(2)</sup>  <b>資格職</b> 公認会計士 税理士 国税専門官  <b>企業内                      スペシャリスト</b> 最高財務責任者 (CFO) 管理会計担当者 経理財務担当者  <b>総合職</b> 国際的メーカー 金融 商社 外資系金融	〈ストラテジー、マーケティング&オーガニゼーション〉 経営戦略論 マーケティング・マネジメント <sup>(2)</sup> 経営組織論 <sup>(2)</sup> 中小企業論 <sup>(2)</sup> ナレッジ・マネジメント論 <sup>(2)</sup> 国際経営論 (J/E) 比較経営論 (アメリカ) Strategic Analysis of Japanese Companies (E) 〈ファイナンス〉 財務管理論 現代コーポレートファイナンス論 Corporate Finance (GSBA) (E) Investments (GSBA) (E)	<b>資格職</b> 公認会計士 税理士 国税専門官  <b>企業内                      スペシャリスト</b> 最高財務責任者 (CFO) 管理会計担当者 経理財務担当者  <b>総合職</b> 国際的メーカー 金融 商社 外資系金融	

会計学特別講義、会計プロセミナー

学科によらず共通の科目についてはP.06を参照してください

STUDENT VOICE

社会にあふれる情報から重要なデータを取り出し客観的に考える力が身についた



会計学科3年  
橋高 圭亮  
埼玉県  
さいたま市立浦和高等学校卒業

Q 印象に残っている授業は？

Answer 管理会計総論では、経営環境の分析や経営に役立つ会計情報を提供するフレームワークとその手法を学びます。企業が財務・非財務情報をどのように活用しながら意思決定を行っているか、その一端を知ることができず。グループワークでは実際の企業を想定しながら、組織内部で管理会計がどのような役割を果たしているか深く理解することができました。

Q 会計学科で自分が成長できたことは？

Answer 企業にまつわるデータから必要な情報を取り出して、客観的な視点で経営状況を分析できるようになりました。データを見たときにこれまでと違う見方ができるようになり、思考力や創造力が鍛えられました。ゼミでは財務諸表などのデータを元に企業の情報だけでなく、将来の展望を予測。会計というものが企業活動の中で果たす役割を学んだことは、企業の未来を予測する力として役立つと思います。

Q 受験生にメッセージをお願いします。

Answer 会計という分野は接する機会が少なく、数字が並んでいると考えるのが億劫だと思う人もいるかもしれませんが、会計は世界共通のツールで、社会の様々な場面で出会うことができます。日常生活にも会計は浸透しており、例えば買い物をしたときの支払いもその一端。会計学科での学びを通じて、会計が企業にどのように役立っているのかを学び、その面白さを知ってほしいです。

PICK UP

授業

会社を経営するための具体的な仕組みとは？

管理会計総論

会社を経験や助ではなく、データや情報に基づいて経営するにはどうするか。この授業では、経営環境の分析、戦略や計画の策定と実行、業績の評価と改善に役立つ情報を作り出し活用するための管理会計について学びます。授業は講義と演習(グループワークや計算問題への取り組み)を組み合わせ、実践をしながら管理会計の知識やスキルが身につくようになっています。

大槻 晴海  
准教授



“価値創造”に向けた企業報告とは？

環境会計論

環境問題や社会的課題等に積極的に取り組み、新たな価値を生み出すことで社会に貢献する — そこに自らの存在意義を見出そうとする企業が増えています。従来の“付加価値”重視の視点から、新たな“価値創造”への挑戦に視座が移ってきているのです。このような企業実体の変化を反映する企業報告について、試行錯誤の歴史を踏まえつつ、新しい企業報告の有り様を考えてみましょう。

千葉 貴律  
教授



STUDENT VOICE

管理会計総論

会計学科3年  
黒川 沙樹  
埼玉県  
私立開智高等学校卒業



実践形式の学びが管理会計の深い理解につながる

管理会計は組織の経営活動と関連しているため、会計専門職以外の仕事につき場合も役に立つ知識を得られると思い、受講しました。授業ではモノづくり企業を想定した、企業効率を上げるための方法をグループワークで実

践したり、自分たちで選んで実際に企業分析を行ったりしました。アウトプットの機会も設けられているので、学びを定着させることが可能です。授業を通じて管理会計情報の知識や考え方を身につけることができました。



公共組織のマネジメントを担う専門人材の育成を目的に、日本で初めての学科として2002年に誕生しました。現代は国や自治体等の行政体に加えて、営利企業と非営利組織が互いに協働して社会課題の解決と公共サービス供給の役割を果たす時代となりました。公共経営学科ではNPOやNGO、行政体といった非営利組織のマネジメントと営利企業である企業における社会貢

献活動についての理解を深めることを通じて、持続可能かつウェルビーイングな社会の形成を目指します。スポーツ・医療・福祉を含め、これら公共に関係する組織のマーケティング、経営戦略、財務、組織マネジメントについて、地域、企業、大学院との連携による、より広く、より深い探究心を育成する教育プログラムを提供します。

[ 学科設置科目 ]

注) (E)は「英語で実施する授業科目」、(J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

学部共通		公共経営学科				
1年次		2年次	3年次～4年次		卒業後	
学部必修	経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学	<b>〈思想・歴史・文化・生活〉</b> 公共歴史論 公共表現行為論 現代健康論 公共思想論 生活文化論 地域公共論 住まいと仕事の地理学 <b>〈戦略論・各種マネジメント〉</b> 行政経営論 ツーリズム・マネジメント (J/E) 地域活性化論 (講義) 地域活性化論 (実習)	<b>〈理論・セクター論〉</b> 公共経営学外国書講読 非営利組織論 社会的企業論 公共ガバナンス論 公共セクター経済論 公益事業論 中小企業論 ベンチャービジネス論 協同組合学 Introduction to Public Management (E)	<b>〈戦略論・各種マネジメント〉</b> 行政経営戦略論 公共交通と地域社会 NPO経営戦略論 自治体マネジメント論 観光事業論 福祉マネジメント論 医療マネジメント論 スポーツ・マネジメント論 アウトドア組織マネジメント論 ライフスタイル・マネジメント論 コミュニティ・ビジネス事情 国際協力NGO論	<b>〈マーケティング・ファイナンス・会計・評価〉</b> 情報公共論 公共マーケティング論 スポーツマーケティング論 ソーシャル・ファイナンス論 サステナブル投資論 NPO会計論 社会会計論 公会計論 国際開発論 (J/E) 自治体財政分析論 地方財政論 行政評価論 Social Impact Investment (E) Business for Social Impact (E)	公共セクター 国家公務員 地方公務員 公企業職員 教員  非営利セクター NPO法人 公益財団・社団法人 学校法人 協同組合  企業セクター 民間企業 スポーツビジネス 介護ビジネス
	企業の社会的責任論 (J/E) 簿記論 / 簿記技能 経済原論、経済史 日本経済史、経営史 ビジネス法 情報化社会論 経営心理学 経営基礎数学 社会調査法 マーケティング基礎論 (2年次から) 基礎専門演習 基礎専門特別講義 など					

学科によらず共通の科目についてはP.06を参照してください

STUDENT VOICE

組織マネジメントの研究のため  
様々な企業・団体に取材。  
客観視する力を身につけ  
ふるさと沖縄に  
再注目するように



公共経営学科4年  
具志 璃子  
沖縄県立  
首里高等学校卒業

公共経営学科の魅力は？

Answer 経営学は日常生活における身近な学問です。公共経営学科では行政組織や教育や福祉など、幅広い分野の組織マネジメントについて学べます。マネジメントについて学ぶことが、課題に対するあらゆるアプローチの方法の習得につながり、卒業後に役立つ強い武器になると思います。

印象に残っている授業は？

Answer 地域活性化論です。ある地域に赴き、その地域が抱える課題について自分の目で確かめることで、社会が持つ課題を自分事として考える思考力を養うことができました。大学進学を期に地元を離れ、外から故郷を見つめるようになったことで客観的な視点で沖縄の魅力や課題について意識するようになり、地域創生について学ぶモチベーションがアップしました。

公共経営学科で自分が成長できたことは？

Answer 一つの価値観にとらわれず広い視野から物事を考えられるようになりました。ゼミで行ったグループ研究では、国や自治体などの行政組織に始まり、教育や医療機関、福祉・スポーツ組織や非営利組織までヒヤリング調査を実施。様々な組織の声を聞き、社会の仕組みを多角的に捉えられるようになりました。学科で学んだことを活かし、物事を表層ではなく、視野を広く持って判断できる人になりたいです。

受験生にメッセージをお願いします。

Answer 公共経営学科では、様々な組織のマネジメントについて学び、自分の視野を広げ、柔軟な価値観を持てるようになる学びが広がっています。公共経営学では営利企業と非営利組織の双方に対して、深く理解できるようになるので、持続可能な社会づくりに欠かせないマインドを身につけられます。進路の選択肢の一つに公共経営学科を入れてもらえると嬉しいです。

PICK UP 授業

新たなスポーツ文化の構築を目指して

スポーツ・マネジメント論

わが国のスポーツ環境は新たな局面を迎えています。少子化や指導者不足による学校体育・部活動の問題、過疎過密によって生じた社会空洞に伴うスポーツ環境の二極化、経済不況による企業や行政のスポーツ支援の縮小、健康意識高揚と地域スポーツの取り組みなど。こうした変化に生じる様々なマネジメントについて考え、皆さんと共に将来のスポーツ文化確立を目指したいと思います。

田中 充洋  
教授



英語でサステナブルな投資の可能性について学ぶ

Social Impact Investment

この授業ではESG(環境・社会・ガバナンス)を投資判断に組み込んだ投資であるサステナブル投資のなかでも、特にインパクト投資について理論や国内外のケースを中心に英語で学びます。レベルの高い交換留学生からも大きな刺激を受けるといいます。単に流暢な英語を話せることが目的ではなく、英語を使って論理的なレポートを作成し、議論できることを目的としています。

塚本 一郎  
教授



STUDENT VOICE

スポーツ・マネジメント論

公共経営学科3年  
渡邊 慧  
東京都立  
北園高等学校卒業



スポーツ組織のマネジメントを他の組織にも活かす

日本のスポーツ環境が直面している課題と変化に焦点を当て、スポーツ組織の管理と運営に関する重要な知識を身につけたいと思い、「スポーツ・マネジメント論」を受講。スポーツと経営の関係を理解し、学校、企業などの異

なる組織タイプに焦点を当てることで、課題や特性を捉え、スポーツマネジメントの進化を学ぶことができます。チームの運営に必要な知識を獲得し、組織運営能力を身につけることができました。

# 経営学部・教員と研究テーマ

2024年4月1日現在

経営学部は、経営・会計・公共経営の3学科に加え、学科の枠を越えて学べる共通科目の専任教員、特任教員、助教計66名で構成されています。授業やゼミナールでは、有益なアドバイスを与えてくれる教員として、時には学生生活や将来の進路について相談に乗ってくれる人生の先輩として、皆さんの夢や目標を応援します。

### 経営学科

① 主な担当科目 ② 研究テーマ

<b>加藤 志津子</b> 教授 ① 比較経営論 (ロシア・東欧) ② ロシア東欧諸国の企業経営の比較研究 ロシア・東欧諸国の企業は独自の歴史・文化を背景としてユニークな発展を遂げつつあります。	<b>佐々木 聡</b> 教授 ① 日本経営史 ② 日本の経営発展の実証的研究 実際の日本の企業や企業家・経営者による「革新」について学び、近未来の企業像を展望する授業内容です。	<b>岡田 浩一</b> 教授 ① 中小企業論 ② 中小企業経営の理論的研究 日本企業の99%以上は中小企業です。中小企業を語らずして日本企業を語れません。一緒に研究しましょう。
--	--	--

<b>新宅 純二郎</b> 特任教員 ① イノベーション・マネジメント ② 日本の製造業の開発・生産戦略 大学では、そのままに役に立つ知識を他人から得ることより、自分の方でどうやら知識を獲得したり創造したりすることができる、その方法論を学んでください。	<b>趙 彤基</b> 助教 ① 経営文献研究、基礎専門演習 ② 製造業企業の製品アーキテクチャ戦略 楽しい大学生活を送りながら、学問の探究を通して、自分の可能性を広げていきましょう。
---	---

### 会計学科

① 主な担当科目 ② 研究テーマ

<b>大倉 学</b> 教授 ① 財務諸表論 ② 制度会計の特質研究 新しいことを知るよこび、そしてそれを様々な視点から考える楽しさをともに経験しましょう。
---

<b>郝 燕書</b> 教授 ① 比較経営論 (中国) ② 中国と日本の経済・経営の比較研究 [中国の格言] 成功者找方法 失敗者找理由 / 成功者は方法を考え、失敗者は言い訳をする。	<b>牛丸 元</b> 教授 ① 企業論 ② イノベーションを創出する企業間関係 知的フィールドで思いっきり可能性を広げてください。	<b>中西 晶</b> 教授 ① 経営心理学、ナレッジ・マネジメント論 ② 高信頼性組織とレジリエンス、安全とセキュリティのマネジメント 自分とは何か、組織とは何か、社会とは何か、深く、多面的に考え、ともに語りましょう。	<b>松野 裕</b> 教授 ① 経営と環境 ② 環境政策の経済学的研究 時を経て、思い出されるのは学生の頃のことばかりです。大切にすごしてください。
---	---	---	--

<b>千葉 貴律</b> 教授 ① 環境会計論 ② 社会と会計 和泉〜駿河台キャンパスのエコウォーキングに参加しませんか？	<b>石津 寿恵</b> 教授 ① 財務会計総論、NPO会計論 ② 営利企業、非営利企業における利益概念 好きな言葉は「努力は裏切らない」。そして経営学部のキャンパスライフは「受験生の努力を裏切らない」。	<b>小俣 光文</b> 教授 ① 監査論 ② 監査制度の有効性の向上、モニタリング機能を中心とした企業ガバナンス向上 大学時代は一生つき合える友人をつくる絶好の機会です。よく学び、よく遊び、たくさん友人をつくって有意義な大学生活を送ってください。	<b>長野 史麻</b> 教授 ① 原価計算論 ② サステナビリティ課題の解決に向けたマネジメント・コントロール・システム 明治大学は自分でも気づいていない可能性に気づかせてくれる。一緒にサステナビリティ課題の解決に役立つ人になりましょう。
--	---	--	---

<b>歌代 豊</b> 教授 ① 経営戦略論 ② 経営戦略のマネジメント 企業だけでなく個人にとっても「戦略」が不可欠です。将来に向けての「自分らしい戦略」を創りましょう。	<b>中澤 高志</b> 教授 ① 経済地理学 ② 労働の地理学、現代日本の地域構造・都市構造の変容 大学で学ぶ地理学は、暗記物の「地理」とは違います。大きな可能性を持った自由な学問です。	<b>一之瀬 真志</b> 教授 ① 生理学、トレーニングの科学、産業生理学 ② 運動生理学 生体機能は運動中にもっとも活性化されます。運動という「窓」を通じて、生体の驚異の機能を探知しましょう。	<b>原田 将</b> 教授 ① マーケティング・マネジメント ② ブランド価値経営、グローバル・ブランド管理の戦略・組織、新興国市場におけるブランド構築 失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしてください。意志あるところに道は開けます。
---	---	---	---

<b>大槻 晴海</b> 准教授 ① 管理会計総論 ② 原価企画に関する理論的・実証的研究 管理会計って知ってますか？未知なるものへの好奇心から、新しい道が開かれます。学び合うことを楽しもう！	<b>加藤 友佳</b> 准教授 ① 法人税法、税法 ② 変化する社会に対応する税制 明治大学は、あらゆる可能性を広げることのできる大学です。貴重な大学生活を、ともに有意義な時間に行きましょう。	<b>森光 高大</b> 准教授 ① 原価管理論A/B ② 主観的業績評価を伴うマネジメントコントロール、原価および収益性の管理 大学生活は挑戦と成長の連続です。新たな挑戦を繰り返しながら知識を深めていってください。	<b>浅野 千鶴</b> 専任講師 ① 現代会計基準論 ② 会計基準における基礎概念の研究 会計学について語り合いましょ！
---	--	---	--

<b>山下 充</b> 教授 ① 経営社会学 ② 人的資源管理の歴史・国際比較、人事部門の機能と歴史 社会現象を多角的、多面的に理解し、新しい世界観を見つけてください。	<b>青木 克生</b> 教授 ① 経営管理論 ② 製造業におけるカイゼン活動の国際比較研究、企業間関係とイノベーション、組織学習の理論的研究 国際化する時代にあって日本企業の真の強みは何であるのか、というテーマを学生諸君とともに学んでいきます。	<b>清水 一之</b> 教授 ① 比較経営論 (西欧) ② インダストリー4.0 (第4次産業革命) 「One for All, All for One」(ひとりみんなのために、みんなはひとりのために)。一緒に勉強し、将来を勝ち取ろう！	<b>三上 真寛</b> 教授 ① 近代経済学、ビジネス・エコノミクス ② 組織・制度の経済学 大学生活は可能性に満ちています。様々な学問に触れて、たくさんの人に出会い、何事にも挑戦しましょう。
---	---	--	--

<b>平屋 伸洋</b> 専任講師 ① 経営分析論、国際財務報告論 ② 資本コストと利益マネジメントの関係 学問とは「学び問う」、「問うことを学ぶ」ことです。大学では物事を広く学び、その真理を探知しましょう。	<b>森田 広大</b> 専任講師 ① 会計史、基礎専門演習 ② 英米会計史研究 大学時代に取り組みべきことをしっかりと定め、それをブレずに極めてください。	<b>公共経営学科</b> ① 主な担当科目 ② 研究テーマ 現象を理論で大きくつむむとともに、統計学という道具を用いてデータでも証明する大学での学びは楽しいものです。	<b>藤江 昌嗣</b> 教授 ① 経営統計学、行政評価論、近代経済学 ② 移転価格税制、行政組織のパフォーマンス・マネジメント、地状学、日本のマテリアルハンドリング産業の生成史 現象を理論で大きくつむむとともに、統計学という道具を用いてデータでも証明する大学での学びは楽しいものです。
---	---	--	--

<b>石塚 史樹</b> 教授 ① 雇用関係論・労使関係論 ② 特に独企業の人的資源管理・労使関係・企業統治にかかわる実証研究 「学問に王道なし」といいますが、分野を問わず成功を収めるためには、地道に修業を継続するしかありません。皆様も、大学進学後も、目指す道での継続的な修業に励んでください。	<b>山崎 憲</b> 准教授 ① 人事労務管理論 ② 企業活動をめぐる社会・経済システム 大学で学ぶことは、「なんのために生きているのか」を探る扉を開けることにつながります。	<b>鷲見 淳</b> 准教授 ① 国際経営論 Fundamentals of Management ② グローバル化と企業の国際経営 グローバル的な視点と日本の本質的な視点を対比することを通して、世界、日本、そして自分を語ります。	<b>宮田 憲一</b> 准教授 ① 経営史、比較経営論 (アメリカ) ② 企業成長の経営史、クリエイティブ産業史 社会を変える「ビジネスの力」に興味をもっている皆さん、ぜひ経営学部の扉を叩いてください！
--	---	--	---

<b>鈴井 正敏</b> 教授 ① ライフスタイル・マネジメント論 ② 健康科学、運動とNK細胞 大学は自分の可能性に挑戦するところです。色々なものに興味を抱く好奇心と、それにトライするバイタリティーを磨いてください。	<b>薩摩 秀登</b> 教授 ① 西洋史、公共歴史論 ② ヨーロッパ中近世史 視野を大きく世界へ広げてください。地球上には、様々な生き方・考え方がありということを忘れずに。	<b>塚本 一郎</b> 教授 ① 非営利組織論、Social Impact Investment ② 社会的企業、企業の社会的責任、社会的インパクト投資に関する研究 周りに流されずに、自分自身で考える力と行動する力を身につけてください。	<b>田中 充洋</b> 教授 ① スポーツ・マネジメント論 ② ボールゲームのコーチング論 皆さんとスポーツの素晴らしさを共有できることを楽しみにしています。
--	--	--	---

<b>古川 裕康</b> 准教授 ① グローバル・マーケティング論 ② 国際市場細分化・グローバル・マーケティングの標準化・適応化研究 挑戦する気持ちを忘れないでください。明治大学は「一歩前へ」踏み出す勇気を持つ学生で溢れています。	<b>鳥居 陽介</b> 准教授 ① 財務管理論、現代コーポレートファイナンス論 ② 株式所有構造の変遷と主要株主が企業に与える影響 大学での学びを通じて、より深く考える力を身につけましょう。それは生涯の財産となります。	<b>谷口 諒</b> 専任講師 ① 経営組織論、組織行動論 ② イノベーションプロセスにおける「失敗からの学習」、カテゴリイノベーション、組織に対する社会からの評価 色々なことに挑戦し、そのなかで多くのことを学び、自身の可能性を広げていく。そんな大学生活にしてください。	<b>永井 裕久</b> 特任教員 ① Transcultural Management ② 次世代グローバルリーダーの育成 "Your vision will become clear only when you can look into your own heart. Who looks outside, dreams; who looks inside, awakes." -Carl Jung, Swiss psychologist-
---	---	---	--

<b>小関 隆志</b> 教授 ① NPO 経営戦略論、ソーシャル・ファイナンス論 ② ソーシャル・ファイナンスによる金融包摂 明治大学経営学部で社会へ幅広い視点を持ち、豊かな経験を積んでください。待っています。	<b>畑中 基紀</b> 教授 ① 公共表現行為論、日本文学 ② 近代日本文学、表現論 失敗を経験せずに成功した人はいません。どんどん失敗しましょう。	<b>菊地 端夫</b> 教授 ① 行政経営論、行政経営戦略論 Introduction to Public Management ② 行政および公共政策の比較研究 楽しみなくして得るものなし。公共経営を学ぶ醍醐味と楽しさを一緒に味わいましょう！	<b>枝村 祥平</b> 教授 ① 哲学、社会思想、宗教思想 ② 17世紀西洋哲学史、比較思想 日本と海外両方に目を向け、遠い過去をみつつ未来を思い描いてください。大胆な発想を大切にしつつ、温故知新もやってみてください。
---	--	---	---

<p><b>森田 直美</b> 教授</p> <p>①日本文学、生活文化論 ②色彩・染織・服飾を視座とした平安朝の文学・文化研究、有職故実研究</p> <p>大学生活の中で、「自分以外の誰かのために、力を発揮したい」という気持ちを育ててください。</p> 	<p><b>阿部 卓</b> 准教授</p> <p>①自然人類学、地域公共論 ②バリ島、雲南少数民族の人類学的研究</p> <p>あたり前の世界から少しでも抜け出せば、新しい世界が見えてきます。大学時代がその大きなチャンスです。</p> 	<p><b>早川 佐知子</b> 准教授</p> <p>①医療マネジメント論、福祉マネジメント論 ②アメリカの病院における人事労務管理</p> <p>「真理は人を自由にする」。明治大学であなたにとっての真理を見つけ、自由な精神を手に入れてください。</p> 	<p><b>吉松 梓</b> 准教授</p> <p>①スポーツ・レジャー・レクリエーション論 ②野外教育、多様なニーズのための自然体験活動</p> <p>予測困難な時代を生き抜く強さと多様性を受容するやさしさを身につけてください。</p> 	
<p><b>高 巖</b> 特任教授</p> <p>①Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任論、外国書講読、教養演習 ②企業の社会的責任、AIビジネスと倫理、デジタルプラットフォームの倫理的課題</p> <p>「企業の社会的責任」という視点で、これからのビジネスのあり方をともに学んでいきましょう。</p> 	<p><b>熊田 知見</b> 助教</p> <p>①地域活性化論、公共経営学外国書講読、経営文献研究 ②文化行政、商工業振興、イベントのソーシャル・インパクト</p> <p>学而不思則罔、思而不学則殆</p> 	<p><b>教養教育</b></p> <p>① 主な担当科目 ② 研究テーマ</p>		<p><b>戸村 佳代</b> 教授</p> <p>①日本語 ②日本語教育・日本語学</p> <p>自分の力を信じて、未来の可能性を広げる努力を続けてください。</p> 
<p><b>福満 正博</b> 教授</p> <p>①中国語、外国文学(中国)、中国文化論 ②中国の戯曲小説</p> <p>近年の中国経済の発展は、目を見張るものがあります。日本の貿易相手でも、アジア地域の占める割合は想像以上に大きいです。皆さん、アジアにもっと目を向けましょう。</p> 	<p><b>辻 昌宏</b> 教授</p> <p>①英語、外国文学(英米) ②英詩、イタリア詩における音韻構造</p> <p>ゆったりとした気持ちで学びましょう。</p> 	<p><b>宇野 毅</b> 教授</p> <p>①英語、イギリス文化論 ②イギリス社会論(イギリスの社会と文化)、現代イギリス論</p> <p>A little learning is a dangerous thing. (Alexander Pope)</p> 	<p><b>山下 佳江</b> 教授</p> <p>①英語、Liberal Arts Seminar in Foreign Languages ②日韓英の比較言語研究、英語ライティングの技法研究</p> <p>留学を考えている学生の方はぜひTOEFL®のクラスを履修し、早めに準備を始めましょう。</p> 	
<p><b>キアナン、パトリック J.</b> 教授</p> <p>①英語、Global Issues ②言語と異文化コミュニケーション</p> <p>英語を上達させるには、それを自分のものにする必要があります。活発に学びましょう。</p> 	<p><b>折方 のぞみ</b> 准教授</p> <p>①フランス語、フランス文化論、外国文学(フランス) ②フランスの文学と思想</p> <p>異文化を学ぶことは新しい世界観を学ぶことです。他者への好奇心は自分の可能性をぐんと広げてくれますよ!</p> 	<p><b>竹内 拓史</b> 准教授</p> <p>①ドイツ語、ドイツ語コミュニケーション ②近現代のドイツ語圏文学</p> <p>大いに遊び、大いに学び、人生を楽しみましょう。</p> 	<p><b>金子 敦子</b> 准教授</p> <p>①Strategic Business Communication, Transcultural Business Communication ②マネジメント・コミュニケーション、グローバル経営人材育成</p> <p>様々ななかかわりを通して、豊かな心と高い見識を養ってください。</p> 	
<p><b>野田 寛達</b> 准教授</p> <p>①中国語 ②中国語学(語彙、文法)</p> <p>小さいものに大きなものを見出す想像力をもってください。日常の何の変哲もない事象に、多くの面白い秘密が隠れています。</p> 	<p><b>真継 左和子</b> 専任講師</p> <p>①英語 ②言語テスト、English-medium instruction (EMI)とその評価</p> <p>共通語である英語で世界中の人と「直接」コミュニケーションが取れるのは非常に楽しく面白いことです。人生が広がります。</p> 	<p><b>畑 一成</b> 専任講師</p> <p>①ドイツ語 ②ゲーテ色彩論、環境哲学、デジタル主権</p> <p>未来を創るため、科学者や芸術家、哲学者でさえも会社を経営する時代です。未来制作のため経営を学びませんか。</p> 	<p><b>高澤 陽太郎</b> 専任講師</p> <p>①数学・経営基礎数学 ②オペレーションズ・リサーチ</p> <p>数学は積み重ねの学問です。一緒に一歩ずつ前進していきましょう。</p> 	
<p><b>デュプリス、ジョン A.</b> 特任准教授</p> <p>①Global Issues, Academic Reading, Academic Writing, Study Skills ②Learning Sciences, Writing Anxiety and Motivation</p> <p>Being willing to challenge oneself and make mistakes is a key trait in learning a foreign language.</p> 	<p><b>モロー、ロバート J.</b> 特任講師</p> <p>①International Business Program, Global Issues ②Academic writing, Autonomous learning, Global issues</p> <p>学術的な表現方法と国際問題を理解する力を英語で学んでいきましょう。</p> 			

## 早期卒業制度

経営学部では、在学3年間で大学卒業、「学士の学位取得」を可能とする早期卒業制度を導入しています。たとえば、大学院進学を希望する学生にとっては高度な専門的教育を、国家試験に合格した学生にとっては専門職として技能を磨くことを、どちらも早期に実現します。

2010年度から計42名の学生がこの制度を利用して経営学部を卒業しました。



### STUDENT VOICE

#### 3年間に凝縮された学びが大学院進学への礎となる



#### 土屋 風仁

東京都  
私立明治大学付属八王子高等学校卒業  
明治大学大学院 経営学研究科 博士前期課程

学部での学修を通じ、経営学の中でも人的資源管理の分野に興味を持つようになりました。学部卒の場合は、就職活動などの兼ね合いでどうしても4年次の学びが希薄になってしまうため、早期卒業による大学院進学を決意。3年間で4年分の内容を学修すれば、より密度の高い学生生活を送れます。また、経営学部では3年次から大学院講義の先取り履修ができるので、進学に向けた早期準備が可能です。

## 大学院経営学研究科・専門職大学院

大学院では海外協定校連携、国際化対応のための英語による授業など、大学院改革の先例となる様々な対応策を実現しつつあります。

### 経営学を究める大学院経営学研究科

#### ■リサーチコースとマネジメントコース

明治大学大学院経営学研究科は博士前期課程と博士後期課程に分かれており、前期課程にはリサーチコースとマネジメントコースがあります。

リサーチコースは、経営学・会計学分野の特定テーマを深く探究する研究者を育成することを目的としたコースで、博士後期課程につながります。修了した者の多くが、経営・会計の専門家や研究者として幅広く活躍しています。

一方、マネジメントコースは社会人を対象としたコースで、一度社会に出た人が能力をブラッシュアップして実務の世界でさらなる活躍を目指すことを目的としています。原則として3年以上の実務経験を有する社会人を対象としています。このコースでは、社会人が研究しやすいよう開講時間を夜間および土曜日に設定しています。

#### ■ダブルディグリー・プログラム

2010年度からマレーシア工科大学(UTM)とのダブルディグリー・プログラムを開始しました。このプログラムは、経営学研究科に在籍しながら相手方大学の修士の学位(UTM:経営管理工学)を取得することができます。

### 社会で活躍するスペシャリストを目指す専門職大学院

#### ■会計専門職研究科(会計大学院)

公認会計士や税理士などの「会計プロフェッショナル」を養成することを目的としています。「会計プロフェッショナル」とは、高度の専門知識とスキルに加え、職業倫理に裏打ちされた的確な判断力を有する人材を指します。将来、「会計プロフェッショナル」を志向する方は、会計専門職研究科の扉を叩いてみませんか。

#### ■ガバナンス研究科(公共政策大学院)

広範な知識を備えた「公共政策のプロフェッショナル」を養成します。実務家教員と研究者教員が理論と実務を架橋した実践的な教育を展開し、自治体の首長、議員、公務員、会社員、NPO職員や、それらを目指す学部卒業生が切磋琢磨しながら学びます。また、社会人の利便性を図るためにオンライン授業も実施しています。

#### ■グローバル・ビジネス研究科(ビジネススクール)

日本企業が多くの困難に直面する現在、環境の変化に対応する能力だけでなく、自ら変化を先取りして、変革を引き起こしていく能力が求められています。グローバル・ビジネス研究科は、進取の気質と旺盛な企業家精神、そして急激な環境変化に対応しうる柔軟性をもった、ビジネスプロフェッショナルの育成を目指すMBAプログラムです。

# 就職・キャリア形成支援

就職キャリア支援センターと連携し、全学部生を対象とした支援で行き届かない部分について「経営学部生に向けた独自のサポート」を行っています。キャリアを取り巻く状況は急激な変化を迎えています。経営学部には、「納得のいくキャリア形成」ができる環境があります。

2019年度に経営学部教員が中心になり特定課題研究ユニット：フューチャーキャリア研究所を設置し、キャリア関連プログラムの開発・体系化について取り組んでいます。



## 資格取得

在学中に所定の科目を履修することで、以下の資格の免許状および基礎資格を取得できます。

所定の単位数を取得すれば取得可能な資格	
教職課程	・中学校教諭一種免許状「社会」 ・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」「公民」「商業」
学芸員養成課程	・学芸員
社会教育主事課程	・社会教育主事(任用) ・社会教育士
司書課程	・司書
司書教諭課程	・司書教諭

## 経営学部独自の各種検定料助成制度

経営学部独自の検定料助成制度で学生の皆さんの挑戦をサポートします。

### 対象検定試験

- 外国語検定 [詳細はP.20](#)
  - ・TOEIC®試験 IP：年1回・1年次は年2回(全額助成)
  - ・TOEFL®試験 ITP：年2回(全額助成)、iBT：年1回
  - ・IELTS™試験 年1回
- ※ TOEFL iBT試験、IELTS試験は年間1人1検定のみ助成
- ・各種外国語検定試験 春学期、秋学期 各期1回(全額助成)  
(ドイツ語/フランス語/中国語/ロシア語/韓国語)
- 簿記検定
  - ・日商簿記検定試験 春学期、秋学期 各期1回(予定)(1級/2級/3級)
- ビジネス系資格検定
  - ※ 下記いずれかの受験料を年間1人1回助成(上限1万円まで)
  - ・公認会計士試験
  - ・税理士試験
  - ・米国公認会計士(USCPA)試験
  - ・中小企業診断士試験
  - ・FP技能検定試験2級以上
  - ・全経簿記検定試験上級以上

## 就職キャリア支援センター

“就職の明治”ならではのサポート力で学生一人ひとりが未来をつかむ力を育みます。

2023年度はオンラインや一部対面相談にて22,000件以上の個別相談を行いました。

また、就職支援行事についても社会の変化や学生のニーズを意識してスピード感をもった行事企画を心がけ、年間300回以上の支援行事を開催しました。

キャリア支援の取り組みや教職員によるサポート体制の充実が高く評価され、高校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキングで14年連続1位に選出されています。

※ 大学通信調査(2023年10月発表)より。

## 難関試験の合格支援

明治大学には、難関である司法試験、公認会計士試験、国家公務員採用試験等を目指す学生のための支援機関である国家試験指導センターがあります。

### 経理研究所

国家試験指導センター経理研究所は1948年に設立されたわが国初の公認会計士養成機関です。公認会計士合格をサポートする「特別会計研究室」および「会計士講座」と、簿記検定の合格を目指す「簿記講座」を設けています。

講座名	合格目標
学内講座 簿記講座(専門学校提携)	
・3級クラス	日商簿記3級
・2級クラス	日商簿記2級
学内講座 会計士講座*(専門学校提携)	
・計算基礎クラス	日商簿記1級、全経簿記上級 公認会計士試験(会計学)
学外講座 会計士講座*(提携専門学校にダブルスクール)	
・会計士本科クラス	公認会計士試験(全科目)

※ 特別会計研究室への入室が条件になります。入室条件は原則日商簿記2級以上合格。

### 行政研究所

最難関の国家総合職をはじめ国家一般職、地方上級等を目指す学生を主な対象として、1年次から4年次まで一貫したカリキュラムと、モチベーションを高める専門の指導が行われています。

### 法制研究所

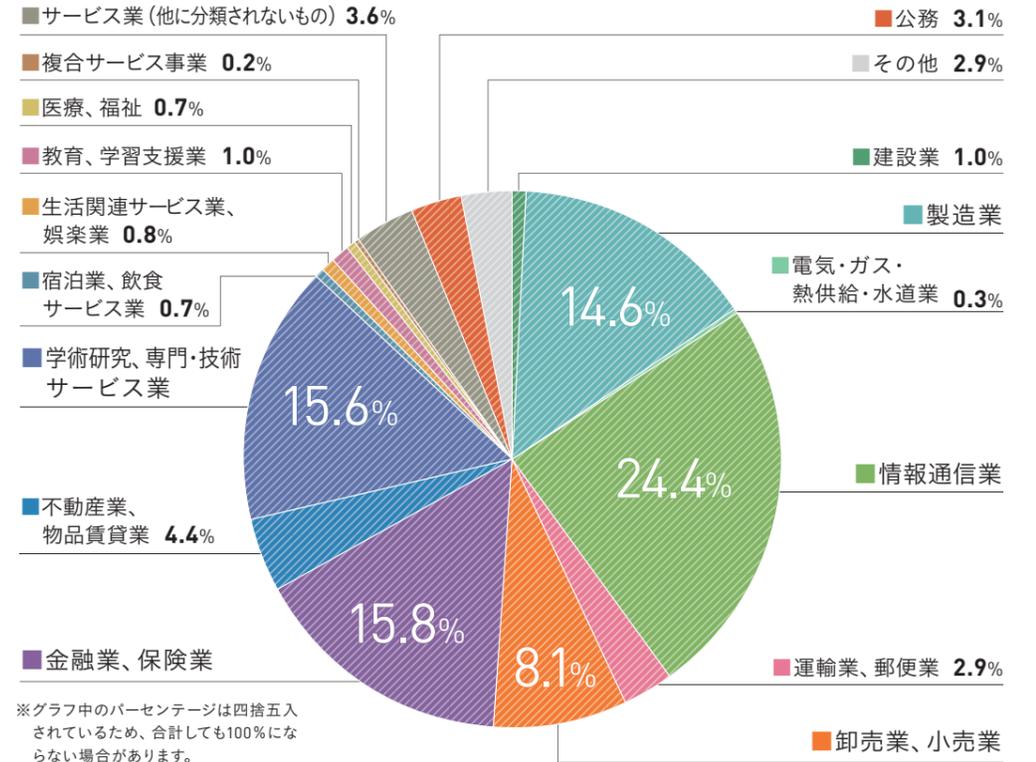
裁判官・検察官・弁護士(法曹三者といいます)を志す学生に対して、基礎から専門科目までの学習を本学OBOG弁護士による指導を中心にサポートしています。

# 就職実績

社会で必要とされる実践力を身につけた経営学部生はその能力が高く評価され、製造業、金融、情報通信、監査法人、公務員など幅広い分野で就職実績を残しています。

## 業種別 就職状況

(2023年度卒業生)



※ グラフ中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。

## 主な就職先企業・団体名

建設業 大和ハウス工業(株)	情報通信業 (株)NTTデータグループ	運輸業、郵便業 全日本空輸(株)	三井住友カード(株)	(株)シグマックス
製造業 富士通(株)	(株)電通デジタル	東日本高速道路(株)	(株)日本カストディ銀行	(株)ADKホールディングス
(株)キーエンス	TIS(株)	日本通運(株)	三井住友海上火災保険(株)	PwC コンサルティング合同会社
ハウス食品(株)	SCSK(株)	(株)商船三井	(株)武蔵野銀行	(株)ベクトル
キュービー(株)	(株)オービック	日本航空(株)	日本マスターカード信託銀行(株)	キャップジェミニ(株)
日本製紙クレシア(株)	日本アイ・ビー・エム(株)	卸売業、小売業 (株)ニトリ	(株)三井住友銀行	有限責任あずさ(監法)
アサヒ飲料(株)	(株)エスビック	(株)ローソン	第一生命保険(株)	(株)大広
(株)安川電機	フューチャー(株)	(株)良品計画	損害保険ジャパン(株)	山田コンサルティンググループ(株)
本田技研工業(株)	エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)	(株)三井物産	(株)ゆうちょ銀行	(株)Dirbato
(株)日立製作所	(株)大塚商会	三菱食品(株)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	KPMG 税理士法人
三菱電機(株)	(株)ポードル	YKK AP(株)	日本生命保険(相)	(株)博報堂
JX金属(株)	(株)TKC	丸紅(株)	農林中央金庫	有限責任監査法人トーマツ
TOPPAN(株)	(株)DYM	豊田通商(株)	不動産業、物品賃貸業 三井不動産リアルティ(株)	キリンホールディングス
(株)ADEKA	三菱UFJインフォメーションテクノロジー(株)	日本ビューレット・パッカド合同会社	三井不動産リアルティ(株)	生活関連サービス業、娯楽業
三菱マテリアル(株)	コムテック(株)	アマゾンジャパン(同)	三菱地所リアルエステートサービス(株)	(株)JTB
雪印メグミルク(株)	日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株)	金融業、保険業 (株)ホーク・ワン	(株)ホーク・ワン	教育、学習支援業
(株)アシックス	兼松エレクトロニクス(株)	東京海上日動火災保険(株)	野村不動産(株)	(学)明治大学
(株)資生堂	NECソリューションイノベータ(株)	みずほフィナンシャルグループ	学術研究、専門・技術サービス業 アクセンチュア(株)	サービス業(他に分類されないもの) ビジネスエンジニアリング(株)
(株)ヤクルト本社	NECネクスソリューションズ(株)	明治安田生命保険(相)	三井住友信託銀行(株)	EY 日本有限責任監査法人
三菱重工業(株)	富士ソフト(株)	三井住友信託銀行(株)	リソナグループ	有限責任監査法人 (株)マイナビ
ENEOS(株)	KDDI(株)	リソナグループ	(株)日立システムズ	(株)ペイカレント・コンサルティング
YKK(株)	(株)日立システムズ	(株)ジェンシービー	京セラ(株)	(株)船井総合研究所
三菱自動車工業(株)	(株)NTTドコモ	(株)千葉銀行	三菱自動車工業(株)	(株)コーエーテックモホールディングス
カルビー(株)	日本放送協会	あおいニッセイ同和損害保険(株)	コクヨ(株)	(株)アイレップ
サッポロビール(株)	(株)集英社	(株)三菱UFJ銀行	サッポロビール(株)	PwC Japan 有限責任監査法人
日本電気(株)	(株)読売新聞東京本社	(株)商工組合中央金庫	日本電気(株)	(株)ノースランド
				(株)ビジョン・コンサルティング

# 経営学部卒業生からのメッセージ

大学を卒業したらどんなキャリアを築くか。明治大学経営学部で学び、現在、社会で輝く卒業生からのメッセージを参考に自分の未来図を描いてみましょう。

## 製造



マーケティングの知識を活かして顧客のニーズを把握し、最適な提案を行う

コマツ  
(コマツカスタマーサポートに出向中)  
清水 龍太郎さん

2022年卒業  
東京都立  
駒場高等学校卒業



ゼミ対抗プレゼンテーション大会にて。本人左から2番目。

工事現場で見かけるショベルカーなどの建設機械を取り扱うメーカーで営業をしています。土木分野以外に解体、資源リサイクルや林業などの様々な分野で活躍する建設機械。配属先では国内トップシェアメーカーの営業マンとして優れた機械を提供し、自社の機械が社会に貢献する姿を感じられることがやりがいです。

ゼミではマーケティングについて研究しました。商品の購入理由は人によって様々で、人気を得る理由も多数あります。商品売るための理論を学ぶ中で、ヒットする理由を正しく把握することの重要性と難しさを学びました。また、1年間かけてチーム一丸で研究論文を作成。教授から鋭い指摘をいただきながら作り上げた論文の存在が、物事を論理立てて説明する力を身につけさせてくれました。

今の業務では、作業効率の良さ、操作性など、求めることは様々で、顧客のニーズを理解し、どのような説明ができるかが重要。大学で学んだことを活かして、購入につながるかを論理立てて考えることができていると感じます。今後は海外事業、特に東南アジアでの機械の拡販に携わっていきたくです。

## 金融



会計の実務で大切なことは、数字を読み解き、分かりやすく伝える力

日本銀行  
新井 穂子さん

2019年卒業  
神奈川県立  
平塚中等教育学校卒業



ゼミの先生と卒業式にて。本人、右。

文書課という部署で、支店全体のお金の使い方を管理する経費支出事務、日々作成される公文書の保存・管理、職員の勤務管理や社会保険関係事務など、いわゆる総務・庶務的な仕事に携わっています。文書課の業務は、中央銀行業務そのものではありませんが、給与や経費といったお金の管理、日々の業務で使用する物品、施設の管理などを通じて、職員が日々安心して働ける環境を確保し、中央銀行業務を支えている必要不可欠な業務です。

大学で学んだ簿記や財務会計の知識は、いわゆる「経理」的な事務はもちろん、景気動向の調査のため、企業へヒアリングする際にも、大いに役立ちました。特に今の部署では、法律や規程をもとに経費の支払い方や計上方法を議論する場面が多く、大学で学問として会計を学んだ経験が活きていると感じています。

数学が苦手な文系を選んだ方には会計学科はハードルが高く感じられるかもしれませんが、しかし、実際に仕事で求められる人は難しい数式が解けたり暗算が早い人ではなく、お金の動きを分かりやすく説明できる人です。ぜひ苦手意識をもたずに挑戦してみてください。

## 公務



大好きな久米島で地域おこし周囲の人の温かさを原動力に課題解決に取り組む

久米島町  
企画財政課 地域おこし協力隊  
新井 健太さん

2012年卒業  
東京都  
明治大学付属八王子高等学校卒業



ゼミ合宿にて。本人一番左。

幼いころから沖縄の離島で暮らしたいという夢があり、地域おこし協力隊として久米島に移住しました。久米島町の移住定住相談窓口勤務し、移住に関する相談対応や島内の生活に関する情報発信をしています。人口減少に歯止めをかけるため、県内外で開催されるイベントにも参加。認知度向上や関係人口・交流人口の拡大を目指しています。

学生時代で特に印象に残っていることは、ゼミでの活動です。運動や栄養などの様々な視点から、「健康」について研究しました。現代社会には快適さを提供するためのモノやサービスが充実していますが、ストレス社会と呼ばれることもあり、生活と仕事のバランスが重要です。久米島は都会に比べると不便ですが、人情深い人が多く、人々とのつながりが私の健康の源となっています。

公共経営学科では「経営」について多様な観点から学べます。ライフスタイルに関する研究を重ねた結果、心身の健康にこれまで以上に重要性を見出すようになりました。人生において選択が必要な場面ではワクワクする方向へ舵を切ることが多くなったように思います。皆さんも興味があったモノ・コトに対して積極的にかかわり、前へ踏み出していきたいと思います。

## 懸賞論文制度

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。審査委員会は2段階の厳密な審査を行っており、個人論文、共同論文に対し、優秀論文ならびに佳作論文には賞金が授与されます。毎年多くの学生が、個人単位、ゼミ内のグループ単位で応募し競い合っています。入賞した作品は学生経営論集として出版され高い評価を得ており、懸賞論文に応募することは学生生活のひとつの目標となっています。

## 受賞者メッセージ



2023年度 優秀論文  
「業種別における需要変動の予測可能性とコスト構造の関係」  
個人論文

岡田 昂樹  
経営学科4年  
埼玉県立越谷北高等学校卒業

優秀賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。研究に協力してくださった平屋先生、同期に改めて感謝申し上げます。先行研究を読みながら研究テーマが二転三転することや進めていく中でたくさんの壁にぶつかったりと、決して平坦な道のりではありませんでした。そのたびに、様々な方からアドバイスをいただきながら、結論を導くことができました。優秀賞を受賞できたのは、合宿やゼミプレといったゼミでの活動やそのたびに先生方からご指導ご鞭撻を賜った結果です。半年以上の研究活動を通じてやり遂げたこの研究とその過程の中で得た経験や達成感は、学生生活において何ものにも代えがたい経験となりました。

## 奨学金制度

明治大学には目的に応じて様々な奨学金が用意されています。

奨学金の主な種類は以下のとおりです。

- ①経済支援型…経済的に修学が困難な人に交付される奨学金
- ②学業奨励型…学業が特に優秀で、将来社会に貢献し得る人材を育成するための奨学金
- ③家計急変型…生計維持者の死亡・事故・失職等による家計急変者を支援する奨学金

明治大学では、大学独自の奨学金のほか、国・日本学生支援機構・地方公共団体・民間団体等が実施する奨学金が利用可能です。それぞれ応募資格として家計状況、学力、人物などの選考基準が定められています。これらの中には返還の必要がない【給費型】と卒業後に返還の必要がある【貸費型(有利子・無利子)】がありますが、明治大学独自の奨学金はすべて【給費型】を採用しています。

※詳細はASSISTおよび本学ホームページを確認してください。

2024年度 奨学金情報誌	
ASSIST (学部対象)	
日本学生支援機構奨学金 高校予約採用教育助成	奨学金の種類、申請方法、返済方法
奨学金別項 新卒者貸付金・学統	奨学金の種類、申請方法、返済方法
日本学生支援機構奨学金 申請日程・方法	奨学金の種類、申請方法、返済方法
学内給費奨学金 申請日程・方法	奨学金の種類、申請方法、返済方法

# 入試情報(2025年度) ※詳細は必ず入試要項で確認してください。

学科所属は2年次からです。出願時に学科選択の必要はありません。

## ■学部別入学試験(学部別3科目方式・英語4技能試験活用方式)

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科	入学試験日	2月10日(月)																				
募集人数	学部別3科目方式・342名 / 英語4技能試験活用方式・40名	合格発表日	2月17日(月)9:30																				
出願期間	1月6日(月)～1月23日(木)※締切日消印有効	手続締切日	3月5日(水)※締切日消印有効																				
試験科目・配点	<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>時限</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語</td><td>1時限</td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民、数学</td><td>2時限</td><td>「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>3時限</td><td>「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択</td><td>150点</td></tr> <tr><td colspan="3">合計(3科目)</td><td>350点</td></tr> </table>	教科	時限	科目	配点	国語	1時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点	地理歴史、公民、数学	2時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択	100点	外国語	3時限	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択	150点	合計(3科目)			350点		
	教科	時限	科目	配点																			
国語	1時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点																				
地理歴史、公民、数学	2時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択	100点																				
外国語	3時限	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択	150点																				
合計(3科目)			350点																				
<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>時限</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語</td><td>1時限</td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民、数学</td><td>2時限</td><td>「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択</td><td>100点</td></tr> <tr><td>(外国語)</td><td>入試当日の試験は免除</td><td>●英語4技能試験(資格・検定試験)のスコアが所定の基準を満たす者について、「外国語」の試験を免除し、スコアに応じた得点を加算します。詳細は大学ガイドブックまたは経営学部ホームページを参照してください。</td><td>30点</td></tr> <tr><td colspan="3">合計(3科目)</td><td>230点</td></tr> </table>	教科	時限	科目	配点	国語	1時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点	地理歴史、公民、数学	2時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択	100点	(外国語)	入試当日の試験は免除	●英語4技能試験(資格・検定試験)のスコアが所定の基準を満たす者について、「外国語」の試験を免除し、スコアに応じた得点を加算します。詳細は大学ガイドブックまたは経営学部ホームページを参照してください。	30点	合計(3科目)			230点			
教科	時限	科目	配点																				
国語	1時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点																				
地理歴史、公民、数学	2時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「公共、政治・経済」、「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択	100点																				
(外国語)	入試当日の試験は免除	●英語4技能試験(資格・検定試験)のスコアが所定の基準を満たす者について、「外国語」の試験を免除し、スコアに応じた得点を加算します。詳細は大学ガイドブックまたは経営学部ホームページを参照してください。	30点																				
合計(3科目)			230点																				

※3科目方式と英語4技能試験活用方式は併願可能です。

## ■全学部統一入学試験

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科	入学試験日	2月5日(水)																										
募集人数	3科目方式・27名 / 英語4技能3科目方式・3名	合格発表日	2月17日(月)9:30																										
出願期間	1月6日(月)～1月17日(金)※締切日消印有効	手続締切日	3月5日(水)※締切日消印有効																										
試験科目・配点	<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>時限</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>外国語</td><td>1時限</td><td>「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択 配点100点を150点に換算します。</td><td>150点</td></tr> <tr><td>国語</td><td>2時限</td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く</td><td>100点</td></tr> <tr><td colspan="4">●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民</td><td>3時限</td><td>「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「公共、政治・経済」</td><td rowspan="2">100点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>4時限</td><td>「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)</td></tr> <tr><td colspan="3">合計(3科目)</td><td>350点</td></tr> </table>	教科	時限	科目	配点	外国語	1時限	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択 配点100点を150点に換算します。	150点	国語	2時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点	●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。				地理歴史、公民	3時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「公共、政治・経済」	100点	数学	4時限	「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	合計(3科目)			350点	
	教科	時限	科目	配点																									
外国語	1時限	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択 配点100点を150点に換算します。	150点																										
国語	2時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点																										
●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。																													
地理歴史、公民	3時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「公共、政治・経済」	100点																										
数学	4時限	「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)																											
合計(3科目)			350点																										
<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>時限</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>(外国語)</td><td>1時限</td><td>●英語4技能資格・検定試験のスコアが所定の基準を満たす者のみ出願可能。1時限目外国語の試験は免除とし、スコアに応じた得点を「英語」の得点として付与する。なお、1時限目の外国語「英語」を受験した場合でもその得点は利用しない。</td><td>150点</td></tr> <tr><td>国語</td><td>2時限</td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く</td><td>100点</td></tr> <tr><td colspan="4">●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民</td><td>3時限</td><td>「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「公共、政治・経済」</td><td rowspan="2">100点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>4時限</td><td>「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)</td></tr> <tr><td colspan="3">合計(3科目)</td><td>350点</td></tr> </table>	教科	時限	科目	配点	(外国語)	1時限	●英語4技能資格・検定試験のスコアが所定の基準を満たす者のみ出願可能。1時限目外国語の試験は免除とし、スコアに応じた得点を「英語」の得点として付与する。なお、1時限目の外国語「英語」を受験した場合でもその得点は利用しない。	150点	国語	2時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点	●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。				地理歴史、公民	3時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「公共、政治・経済」	100点	数学	4時限	「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	合計(3科目)			350点		
教科	時限	科目	配点																										
(外国語)	1時限	●英語4技能資格・検定試験のスコアが所定の基準を満たす者のみ出願可能。1時限目外国語の試験は免除とし、スコアに応じた得点を「英語」の得点として付与する。なお、1時限目の外国語「英語」を受験した場合でもその得点は利用しない。	150点																										
国語	2時限	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文を除く	100点																										
●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。																													
地理歴史、公民	3時限	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「公共、政治・経済」	100点																										
数学	4時限	「数学」(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)																											
合計(3科目)			350点																										

※3科目方式と英語4技能3科目方式は併願可能です。

## ■大学入学共通テスト利用入学試験(3科目方式・4科目方式)

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科	入学試験日	1月18日(土) / 1月19日(日) ※「令和6年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。																									
募集人数	3科目方式・25名 / 4科目方式・25名	合格発表日	2月17日(月)9:30																									
出願期間	1月6日(月)～1月17日(金)※締切日消印有効	手続締切日	3月5日(水)※締切日消印有効																									
試験科目・配点	<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語</td><td>「国語」</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。</td><td>250点</td></tr> <tr><td colspan="3">●下記の科目のうちから1科目を選択。</td></tr> <tr><td>地理歴史</td><td>「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合/歴史総合/公共」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。</td><td rowspan="5">150点</td></tr> <tr><td>公民</td><td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合/歴史総合/公共」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。</td></tr> <tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学A」、「数学Ⅲ、数学B、数学C」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。</td></tr> <tr><td>理科</td><td>「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。</td></tr> <tr><td>情報</td><td>「情報Ⅰ」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。</td></tr> <tr><td colspan="2">合計(3科目)</td><td>600点</td></tr> </table>	教科	科目	配点	国語	「国語」	200点	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。	250点	●下記の科目のうちから1科目を選択。			地理歴史	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合/歴史総合/公共」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	150点	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合/歴史総合/公共」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学A」、「数学Ⅲ、数学B、数学C」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	情報	「情報Ⅰ」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	合計(3科目)		600点	
	教科	科目	配点																									
国語	「国語」	200点																										
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。	250点																										
●下記の科目のうちから1科目を選択。																												
地理歴史	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合/歴史総合/公共」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	150点																										
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合/歴史総合/公共」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。																											
数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学A」、「数学Ⅲ、数学B、数学C」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。																											
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。																											
情報	「情報Ⅰ」 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。																											
合計(3科目)		600点																										
<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語<sup>※1</sup></td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)</td><td>30点</td></tr> <tr><td colspan="3">●大学入学共通テスト</td></tr> <tr><td colspan="3">下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民、数学、情報</td><td>「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」</td><td>100点</td></tr> <tr><td colspan="2">合計(3科目)</td><td>230点</td></tr> </table>	教科	科目	配点	国語 <sup>※1</sup>	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点	外国語	(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)	30点	●大学入学共通テスト			下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。			地理歴史、公民、数学、情報	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」	100点	合計(3科目)		230点							
教科	科目	配点																										
国語 <sup>※1</sup>	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点																										
外国語	(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)	30点																										
●大学入学共通テスト																												
下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。																												
地理歴史、公民、数学、情報	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」	100点																										
合計(3科目)		230点																										

(次ページへ続く)

## ■大学入学共通テスト利用入学試験(3科目方式・4科目方式)(続き)

試験科目・配点	<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語</td><td>「国語」</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。</td><td>250点</td></tr> <tr><td colspan="3">●下記の科目のうちから2科目を選択。</td></tr> <tr><td colspan="3">3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用します。同一教科内について2科目の使用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とします。</td></tr> <tr><td>地理歴史</td><td>「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合/歴史総合/公共」</td><td rowspan="5">200点 (100点×2)</td></tr> <tr><td>公民</td><td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合/歴史総合/公共」</td></tr> <tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学A」、「数学Ⅲ、数学B、数学C」</td></tr> <tr><td>理科</td><td>「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」</td></tr> <tr><td>情報</td><td>「情報Ⅰ」</td></tr> <tr><td colspan="2">合計(4科目)</td><td>650点</td></tr> </table>	教科	科目	配点	国語	「国語」	200点	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。	250点	●下記の科目のうちから2科目を選択。			3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用します。同一教科内について2科目の使用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とします。			地理歴史	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合/歴史総合/公共」	200点 (100点×2)	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合/歴史総合/公共」	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学A」、「数学Ⅲ、数学B、数学C」	理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	情報	「情報Ⅰ」	合計(4科目)		650点	
	教科	科目	配点																												
国語	「国語」	200点																													
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。	250点																													
●下記の科目のうちから2科目を選択。																															
3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用します。同一教科内について2科目の使用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とします。																															
地理歴史	「歴史総合、世界史探求」、「歴史総合、日本史探求」、「地理総合、地理探求」、「地理総合/歴史総合/公共」	200点 (100点×2)																													
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合/歴史総合/公共」																														
数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学A」、「数学Ⅲ、数学B、数学C」																														
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」																														
情報	「情報Ⅰ」																														
合計(4科目)		650点																													

## ■特別入学試験

[外国人留学生入学試験]

募集人数	明治大学における試験を実施する入学試験(Ⅰ型)			要項完成時期
40名(Ⅰ型)	出願期間	試験科目	入学試験日	5月下旬(予定)
	2024年9月3日(火)～9月10日(火)	第一次選考 書類選考 第二次選考 口頭試問	第二次選考 2024年12月21日(土)	

※出願資格等の詳細については、要項をご確認ください。

## ■[予告]2026年度 学部別入学試験

経営学部では、2026年度入学試験(2026年度4月入学)より、学部別入学試験において、方式および試験科目を変更します。

### 2026年度の学部別入学試験における方式

方式	募集人数
学部別入学試験(大学入学共通テスト併用型3科目方式)	342名
学部別入学試験(大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式)	40名

※学部別入学試験の合否判定にあたっては、本学部が指定する「大学入学共通テスト」科目の受験が必要です。

※上記の方式は、併願可能です。

### 試験科目・配点

大学入学共通テスト併用型 3科目方式	<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語<sup>※1</sup></td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語<sup>※1</sup></td><td>「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」</td><td>150点</td></tr> <tr><td colspan="3">●大学入学共通テスト</td></tr> <tr><td colspan="3">下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民、数学、情報</td><td>「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」</td><td>100点</td></tr> <tr><td colspan="2">合計(3科目)</td><td>350点</td></tr> </table>	教科	科目	配点	国語 <sup>※1</sup>	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点	外国語 <sup>※1</sup>	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」	150点	●大学入学共通テスト			下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。			地理歴史、公民、数学、情報	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」	100点	合計(3科目)		350点	
	教科	科目	配点																				
国語 <sup>※1</sup>	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点																					
外国語 <sup>※1</sup>	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」	150点																					
●大学入学共通テスト																							
下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。																							
地理歴史、公民、数学、情報	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」	100点																					
合計(3科目)		350点																					
英語4技能試験活用方式	<table border="1"> <tr><th>教科</th><th>科目</th><th>配点</th></tr> <tr><td>国語<sup>※1</sup></td><td>「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)</td><td>30点</td></tr> <tr><td colspan="3">●大学入学共通テスト</td></tr> <tr><td colspan="3">下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。</td></tr> <tr><td>地理歴史、公民、数学、情報</td><td>「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」</td><td>100点</td></tr> <tr><td colspan="2">合計(3科目)</td><td>230点</td></tr> </table>	教科	科目	配点	国語 <sup>※1</sup>	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点	外国語	(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)	30点	●大学入学共通テスト			下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。			地理歴史、公民、数学、情報	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」	100点	合計(3科目)		230点	
教科	科目	配点																					
国語 <sup>※1</sup>	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点																					
外国語	(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)	30点																					
●大学入学共通テスト																							
下記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。																							
地理歴史、公民、数学、情報	「地理総合、地理探求」、「歴史総合、日本史探求」、「歴史総合、世界史探求」、「地理総合、歴史総合、公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」、「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「情報Ⅰ」	100点																					
合計(3科目)		230点																					

※1…本学における試験を実施します。

■明治大学は、一般選抜(学部別入試・全学部統一入試・大学入学共通テスト利用入試)においてすべてWeb出願です。パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。

■過去の入試結果は、大学ガイドブックを参照してください。

# 明治大学経営学部がわかる 9つのポイント

## 私学初の経営学部

1953年創設



明日に役立つ  
人間をつくる

## 学科・科目

2年生から学科別



3学科

## 国際・留学

学部独自の制度充実



レベル・ニーズ  
に応じた留学

## GREAT

グローバル経営人材育成トラック



4年間英語で学ぶ  
経営学

## CAP

高度職業会計人養成トラック



4年間で  
会計のプロを目指す

## DIGIT

デジタル経営人材開発トラック



4年間実践科目で  
イノベーション創出を目指す

## アクティブラーニング

社会現場を体感



座学+フィールド  
で学ぶ

## ゼミナール

教員との距離が近い



1年生から

## キャリア教育・進路

多様なフィールドへ



1年生から  
社会課題を意識

詳しくはこちらを **CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/keiei>



LINE @meijixam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を  
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?  
?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

